

令和2年度  
事業報告書



社会福祉法人摂津宥和会

## 令和2年度 社会福祉法人摂津宥和会 事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な感染拡大に振り回された一年となった。

令和2年1月16日に日本国内で初めて感染者が確認された後は、ダイヤモンド・プリンセス号での大量感染、全国的な大規模イベントの自粛要請、全国すべての小中学校などへの臨時休校の要請、そして、大阪府下では2度の「緊急事態宣言」が発令されるなど、まさに未曾有の事態となった。当法人においても、それぞれの施設において、これまでのサービスの在り方やその内容について、見直しの必要性を迫られ続けた一年となった。また、私生活においても、これまでの日常は一変し、「不要不急の外出自粛」を求められるなど、公私において大変な1年となった。

当法人においては、厚生労働省、大阪府及び摂津市の発表やガイドライン等に基づき、それぞれの施設において、感染拡大防止への取り組みを徹底して行った。

職員への注意喚起のため、「新型コロナウイルス感染防止のための職員行動指針」を策定し、全職員に配布した。また、その他必要に応じて、職員への周知や注意喚起を行った。

障害福祉サービス事業所で勤務する職員に対して、7月には摂津市から「摂津市新型コロナウイルス感染症対策従事者応援給付金」、12月には大阪府から「新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金」が支給された。これらの給付金の対象外の施設で勤務する職員についても、法人独自で同額の給付金を支給した。また、大阪府新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金を活用し、感染拡大防止のための備品、消耗品等を購入した。

このようなコロナ禍の中ではあったが、摂津市における地域生活支援拠点等事業として、重点項目である緊急時の受け入れ、体験利用の場の確保を担うことを主な目的とし、グループホーム10床と短期入所5床を備えたグループホーム「ヒマワリ」を、当初の予定通り、令和3年3月に開所することができた。短期入所については、今年度の稼働実績は無く、次年度に向けた準備として、近隣の短期入所事業所との打ち合わせを行った。

1	事務局	・・・・・・・・・・	1
2	地域生活支援センター		
	I 障害者支援施設「摂津市立みきの路」	・・・・・・・・・・	14
	II 共同生活援助（グループホーム）	・・・・・・・・・・	28
3	摂津市立児童発達支援センター		
	I 児童発達支援センター「つくし園」	・・・・・・・・・・	39
	II 障害児通所支援施設「めばえ園」	・・・・・・・・・・	51
4	多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」	・・・・・・・・・・	57
5	摂津市立身体障害者・老人福祉センター	・・・・・・・・・・	80
6	摂津市障害者職業能力開発センター「せつつくすのき」	・・・・・・・・・・	89
7	摂津市立第1児童センター	・・・・・・・・・・	100
8	摂津市障害者総合支援センター		
	I 摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」	・・・・・・・・・・	110
	II 茨木・摂津障害者就業・生活支援センター	・・・・・・・・・・	116

# 1 法人事務局

## 1 概況

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、社会福祉法人が提供するサービスの継続のあり方や、運営体制の見直しが求められ、大きな影響を受けた1年となった。当法人においては、厚生労働省、大阪府、摂津市などの関係省庁の発表等に基づき対応を行い、必要に応じて、職員への周知や注意喚起を行った。

理事会、評議員会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、決議の省略により実施した。また、施設連絡会、法人内研修、職員採用面接等については、「オンライン」により実施し、できるだけ人と人との接触を減らすことで、感染拡大防止に努めた。

## 2 事業の実施状況

### (1) 理事会の開催

回	開催日	出席者	議案
1	令和2年 5月28日  決議の省略 による開催	理事 6名 監事 2名	1 理事長の業務執行報告 2 業務執行理事の業務執行報告 3 職員就業規則の一部を改正する規則制定 4 令和元年度事業報告承認 5 令和元年度収支決算承認 6 評議員選任・解任委員選任 7 第三者委員選任 8 令和2年度第1回定時評議員会の開催について
2	令和3年 3月29日  決議の省略 による開催	理事 6名 監事 2名	1 理事長の業務執行報告 2 業務執行理事の業務執行報告 3 補正予算（第1号～第5号）専決処分 4 職員給与に関する規則の一部を改正する規則制定 5 経理規則の一部を改正する規則制定 6 指定管理者年度協定書締結 7 令和2年度事業計画承認 8 令和2年度収支予算承認 9 施設長選任

### (2) 評議員会の開催

開催日	出席者	議案
令和2年6月23日  決議の省略による開催	評議員 7名	1 令和2年度第1回理事会の議事 2 令和元年度収支決算承認 3 理事の選任

## (3) 監事監査の実施

実施日	出席者	監査内容
令和2年5月21日	監事 2名	1 令和元年度事業報告 2 令和元年度計算書類及び財産目録

## (4) 施設連絡会の開催

開催日	開催方法	出席者	主な内容
令和2年4月9日	対面	12名	緊急事態宣言発出に伴う新型コロナウイルス感染防止策について 他
令和2年4月15日	対面	10名	各施設の近況報告 理事会・評議員会の日程について 他
令和2年4月30日	対面	11名	各施設の近況報告 GW中の連絡体制について 他
令和2年5月13日	対面	11名	各施設の近況報告 監事監査・理事会・評議員会について 他
令和2年5月28日	対面	11名	各施設の近況報告 摂津市応援給付金について 他
令和2年6月10日	WEB	11名	各施設の近況報告 こども食堂について 他
令和2年6月24日	対面	11名	各施設の近況報告 令和元年度決算について 他
令和2年7月15日	WEB	11名	各施設の近況報告 令和3年度当初予算要求について 他
令和2年7月29日	WEB	11名	各施設の近況報告 令和3年度予算ヒアリング日程について 他
令和2年8月12日	WEB	11名	各施設の近況報告 給与振込口座の変更について 他
令和2年8月26日	WEB	10名	各施設の近況報告 勤怠管理システムの導入について 他
令和2年9月16日	WEB	11名	各施設の近況報告 キャリアタス福祉フォーラム参加報告 他
令和2年9月30日	WEB	11名	各施設の近況報告 令和2年10月1日付人事異動 他
令和2年10月14日	WEB	11名	各施設の近況報告 特定保健指導について 他
令和2年10月28日	WEB	11名	各施設の近況報告 年末調整について 他

令和2年11月11日	WEB	11名	各施設の近況報告 期末手当・勤勉手当の内容について 他
令和2年11月25日	WEB	11名	各施設の近況報告 年末年始の理事長挨拶について 他
令和2年12月9日	WEB	11名	各施設の近況報告 職員勉強会の開催について 他
令和2年12月23日	WEB	11名	各施設の近況報告 年末年始の注意喚起・緊急連絡体制 他
令和3年1月13日	WEB	11名	各施設の近況報告 令和2年度決算までのスケジュール 他
令和3年1月27日	WEB	11名	各施設の近況報告 新型コロナウイルス感染症について 他
令和3年2月10日	WEB	11名	各施設の近況報告 資格取得助成金の申請について 他
令和3年2月24日	WEB	11名	各施設の近況報告 2022年度新卒採用職員募集について 他
令和3年3月10日	WEB	11名	各施設の近況報告 年度末の会計処理について 他
令和3年3月24日	WEB	11名	各施設の近況報告 令和3年4月1日付人事異動 他

(5) 法人運動会の開催

利用者・家族・OB・職員参加の「法人運動会」について、例年は10月に開催をしてきたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

(6) 職員研修

法人事務局職員としての資質向上を目的に、外部研修を積極的に受講した。

開催日	内容	主催	場所	参加者
令和2年 7月9日	令和2年度社会福祉法人制度 改革フォローアップセミナー	全国社会福 祉法人経営 者協議会	WEB開催	事務局 職員
令和2年 7月25日	施設管理者・利用者向け新型 コロナウイルス発生・感染 拡大防止研修会	摂津市施設 管理公社	摂津市民 文化ホール	事務局 職員
令和2年 11月12日 12月10日 令和3年 1月14日	令和2年度経営改善基礎講座	大阪府社会 福祉協議会	WEB開催	事務局 職員

	令和2年度障がい者総合支援制度における指定事業者・施設集団指導	大阪府	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	令和2年度大阪府・市町村社会福祉法人・施設等指導監査合同説明会	大阪府	

### 3 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応

厚生労働省、大阪府、摂津市などの関係省庁の発表等について、速やかに情報収集を行い、それに基づき以下のように対応をした。

#### (1) これまでの経過

令和2年3月2日	摂津市障害者職業能力開発センター臨時休校（～5/31）
令和2年3月3日	摂津市立第1児童センター臨時休館（～5/31）
令和2年3月9日	摂津市立身体障害者・老人福祉センター臨時休館（～5/31）
令和2年4月7日	大阪府を含む7都府県を対象に「緊急事態宣言」発出
令和2年4月16日	「緊急事態宣言」の対象が全国に拡大
令和2年5月21日	「緊急事態宣言」の対象区域から大阪府が解除される
令和2年5月25日	全国で「緊急事態宣言」が解除
令和2年7月12日	大阪モデルの「黄色信号」が点灯
令和2年12月3日	大阪モデルの「赤信号」が点灯
令和2年12月4日	摂津市障害者職業能力開発センターで短縮授業を実施（～2/28）
令和3年1月7日	首都圏の1都3県を対象に「緊急事態宣言」発出
令和3年1月14日	大阪府を含む7府県を対象に「緊急事態宣言」発出 合わせて11都府県が対象となる
令和3年2月28日	「緊急事態宣言」の対象区域から大阪府が解除される 大阪モデルは「黄色信号」に移行
令和3年3月21日	全国で「緊急事態宣言」が解除

#### (2) 特例措置について

##### ① 特別休暇の取扱いについて

職員が以下のいずれかに該当する場合、特別休暇として取り扱うこととしている。

- ・職員本人が、新型コロナウイルスに罹患した場合、治癒するまでの間
- ・職員本人が、濃厚接触者となっている場合、保健所の指示による自宅待機期間が終了するまでの間
- ・同居する親族が、濃厚接触者となっている場合、同居親族が濃厚接触者として特定された日から、保健所の指示による自宅待機期間が終了するまでの間

- ・職員本人が、PCR 検査を受検した場合、結果が判明するまでの間

② 通勤経路変更の取扱いについて

公共交通機関を利用して通勤している職員については、臨時的な措置として、自家用車等を併用しての通勤を認めている。

(3) ICT（情報通信技術）の活用

- ・オンライン会議システム「ZOOM」を活用し、施設連絡会、法人内研修を実施した。
- ・職員採用面接について、1次面接で「オンライン面接」を取り入れた。
- ・新規採用職員の採用説明会について、従来の「対面」に加えて、「オンライン」でも開催した。

(4) 職員への注意喚起

- ・全職員向けの通知文を合計9回配布した。
- ・「新型コロナウイルス感染防止のための職員行動指針」を作成し、全職員に配布した。
- ・職員同士の飲み会については、当面の間自粛するように周知した。
- ・職員に対して、国の新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）及び大阪コロナ追跡システムへの登録を周知した。
- ・37.5度以上の発熱などの風邪症状がある場合や体調不良がみられる場合は、出勤をせず、速やかにかかりつけ医等を受診し、施設長へ診断結果を必ず報告するよう周知した。
- ・マスクの着用、こまめな手洗い・手指消毒、「3つの密（密閉・密集・密接）」の回避など、感染予防対策の徹底を周知した。

(5) 摂津市新型コロナウイルス感染症対策従事者応援給付金の支給

- ・1度目の緊急事態宣言期間（令和2年4月7日から5月21日）中に、障害福祉サービス事業所で従事した職員に対して、摂津市より「摂津市新型コロナウイルス感染症対策従事者応援給付金」が一人あたり10,000円支給された。
- ・給付金の対象外の事業所で勤務する職員に対して、法人独自で同額の給付金を支給した。

(6) 大阪府新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金の支給

- ・令和2年1月29日から6月30日までの間、障害福祉サービス事業所において通算10日以上従事した職員に対して、大阪府より「大阪府新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金」が一人あたり50,000円支給された。
- ・慰労金の対象外の事業所で勤務する職員に対して、法人独自で同額の給付金を支給した。

#### (7) 大阪府新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金

障害福祉サービス事業所において、新型コロナウイルス感染防止のために発生したかかり増し経費等に対して、大阪府より「大阪府新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金」が以下の通り支給された。

摂津市立みきの路	2,176,000 円
グループホーム	402,000 円
摂津市立児童発達支援センター	784,000 円
摂津市立ひびきはばたき園	757,000 円
摂津市障害者総合相談支援センター	150,000 円

#### 4 情報公開

##### (1) 財務諸表等電子開示システム

独立行政法人福祉医療機構が運営する「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」を通じて、令和元年度計算書類等及び財産目録等、現況報告書を公開した。

##### (2) 障害福祉サービス等情報公開システム

平成 30 年 4 月より施行された「障害福祉サービス情報公開制度」に基づき、独立行政法人福祉医療機構が運営する「障害福祉サービス等情報公開システム」を通じて、当法人の運営する障害福祉サービスの内容について公開している。

##### (3) ホームページでの情報公開

法人ホームページにおいて、定款、役員等名簿、役員等報酬規程、事業計画書、事業報告書、計算書類、財産目録、現況報告書、監事監査報告書を公開している。

#### 5 人材確保・育成・定着に向けた取り組み

##### (1) 新卒採用に向けた取り組み

###### ① 就職フェアへの参加

実施日	内 容
令和 2 年 9 月 13 日	「キャリアタス福祉フォーラム」 ・主催：株式会社ディスコ ・場所：グランフロント大阪 ・当日参加職員：事務局長、支援員、保育士、事務局

令和2年12月12日	「2020 摂津市介護のお仕事 福祉就職フェア」 ・主催：摂津市介護保険事業者連絡会 ・場所：摂津市立コミュニティプラザ ・当日参加職員：理事長、事務局長、施設長、事務局
令和3年3月13日	「福祉の就職総合フェア SPRING in OSAKA」 ・主催：大阪府社会福祉協議会 ・場所：WEB開催 ・当日参加職員：支援員、保育士、事務局

## ② 採用説明会の開催

採用説明会について、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「対面」と「オンライン」の両方で開催し、参加する学生がどちらかを選択して参加できるように配慮した。

開催日	開催場所	参加学生数	参加職員
令和3年3月20日	みきの路	1名	支援員、事務局
令和3年3月24日	WEB開催	1名	保育士、事務局
令和3年3月30日	みきの路	2名	支援員、事務局
令和3年3月30日	WEB開催	2名	支援員、事務局

## ③ 広報活動

- ・「マイナビ2022」に新卒求人の情報を掲載し、サイトを通じて、学生からのエントリーや採用説明会の予約の受け付けをした。
- ・学生との連絡ツールとして、電話やメールに加えて、LINEを取り入れ、法人ホームページにも掲載した。

### (2) 中途採用に向けた取り組み

- ・法人ホームページに募集要項を掲載し、職員募集を行った。
- ・これまでの人材紹介会社を通じた採用手法に加えて、「マイナビ転職」に求人の情報を掲載し、サイトを通じて求職者からの応募の受け付けをした。

### (3) 人材育成への取り組み

#### ① 職員勉強会の実施

全職員を対象に、職員勉強会を以下の通り実施した。

実施日	主な内容	参加人数
令和2年 7月1日  WEB開催	・支出伺書を作成する際の注意点について ・精算書の様式について	16名

令和3年 1月7日  WEB開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働基準関係法令について</li> <li>・育児・介護休業法について</li> <li>・働き方改革について</li> <li>・就業規則、給与規則について</li> <li>・契約職員・嘱託職員の雇用等に関する規程について</li> </ul>	23名
---------------------------	--	-----

② 新規採用職員研修

新規採用職員を対象として、採用時研修を実施した。

実施日	参加者
令和2年4月1日	新規採用職員5名
令和2年7月1日	新規採用職員2名
令和2年7月13日	新規採用職員1名
令和2年8月3日	新規採用職員1名
令和2年10月1日	新規採用職員2名
令和2年12月1日	新規採用職員1名
令和3年1月4日	新規採用職員1名
令和3年2月1日	新規採用職員2名
令和3年3月1日	新規採用職員1名

(4) 人材定着に向けた取り組み

① 新規採用職員に対するフォローアップ体制の構築

- ・配属先の指導担当職員との3か月にわたる「新規採用職員日誌」への記入を通して、新規採用職員の指導に努めた。
- ・採用6か月後に、指導担当職員及び施設長との面談を実施した。
- ・採用6か月後に、理事長及び事務局長との懇話会を実施した。

② 福利厚生事業

職員健康診断	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎一次検診 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：令和2年8月18日～8月21日</li> </ul> </li> <li>◎二次検診 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：令和2年10月26日、27日</li> </ul> </li> <li>◎子宮がん検診 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：令和2年11月2日、13日</li> </ul> </li> <li>◎夜勤従事職員健康診断 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：令和3年3月26日</li> </ul> </li> </ul>
大阪民間社会福祉事業従事者 共済会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般給付金事業</li> <li>・生活サポートサービス 他</li> </ul>

福利厚生センター (ソウェルクラブ)	・慶事のお祝い ・健康生活用品給付 他
-----------------------	------------------------

## 6 地域における公益的な取り組み

地域における公益的な取り組みの実施は、社会福祉法人の責務として位置づけられている。当法人では、地域から支えられる施設づくりを目指して、以下の取り組みを実施し、その内容を法人ホームページにも掲載をした。

### (1) 社会貢献事業

昨年度から引き続き、大阪府社会福祉協議会社会貢献事業である「大阪しあわせネットワーク」に参画し、コミュニティソーシャルワーカーを配置して、地域で課題を抱える方への支援を行った。

### (2) 「こども食堂」の実施

今年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全て中止とした。

### (3) 災害時の福祉避難所

「摂津市立みきの路」及び「摂津市立ふれあいの里」は、摂津市と「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結し、災害時には、地域の高齢の方や障害のある方々などを地域から受け入れ、安心安全に過ごせる避難所を運営できるよう、「福祉避難所運営マニュアル」を整備している。今年度については、昨年度作成した「備蓄品リスト」に基づき、備蓄品の整備を行った。

### (4) 地域清掃活動

今年度より、ふれあいの里の各施設(摂津市立ひびきはばたき園、摂津市立身体障害者・老人福祉センター、摂津市障害者職業能力開発センター)の職員が、定期的に周辺のコモリ掃除、ゴミ拾いなどを実施した。

## 7 働き方改革に向けた取り組み

### (1) 労働法制の見直し

年次有給休暇が10日以上付与される全ての職員に対し、年5日、時季を指定して年次有給休暇を取得させた。

### (2) 雇用形態に関わらない公正な待遇の確保

今年度より、非正規職員の給与制度について、定期昇給を導入した新たな給与制度を施行した。

## 8 災害や事故等への備え

### (1) 防犯訓練

不審者等による犯罪に備えるための防犯訓練については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度は実施を見送った。

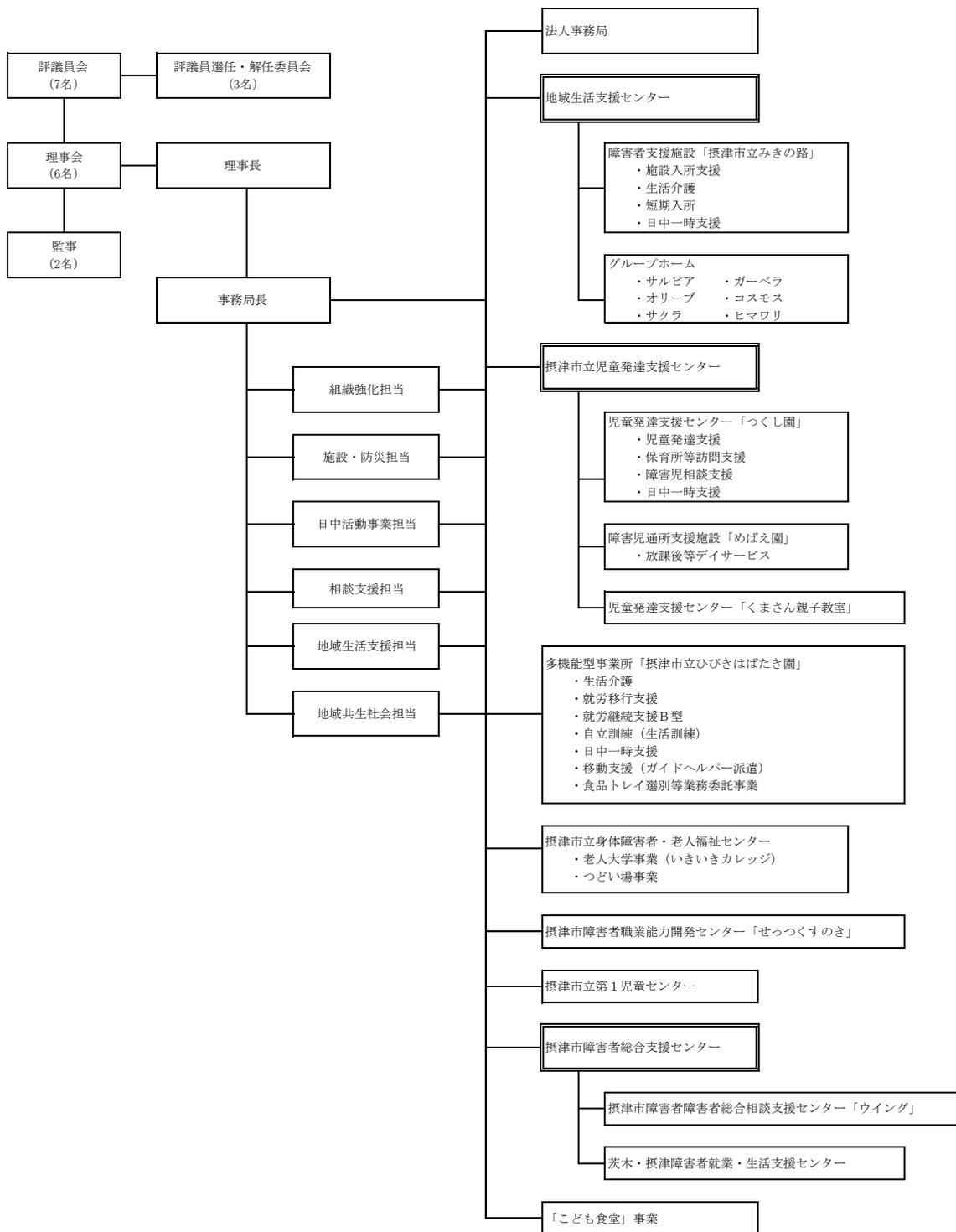
### (2) 救命法講習

人工呼吸や心臓マッサージの方法、AED（自動体外式除細動器）の使い方等についての救命法講習については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度は実施を見送った。

## 9 役員・評議員体制（令和3年3月31日現在）

役職名	氏名	所属
理事長	松嶋 桂子	社会福祉法人摂津宥和会 理事長
理事	稲田 通子	摂津市手をつなぐ親の会 会長
理事	馬渡 恵美子	摂津市肢体不自由児者父母の会 会長
理事	山下 恵美子	摂津市立ひびきはばたき園家族会
理事	小島 勝英	摂津市身体障害者福祉協会 副会長
業務執行理事	登阪 弘	社会福祉法人摂津宥和会 事務局長
監事	村田 守	鳥飼小学校地区福祉委員会 委員長
監事	辻 晴雄	辻税務経営事務所 所長
評議員	高岡 國士	社会福祉法人成光苑 理事長
評議員	坂本 ヒロ子	社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 理事長
評議員	榎谷 佳純	社会福祉法人摂津市社会福祉協議会 会長
評議員	井川 美知子	摂津市民生児童委員協議会
評議員	鶴野 隆浩	大阪人間科学大学 教授
評議員	杉本 正彦	一般財団法人摂津市保健センター 事務局長
評議員	野村 眞二	摂津市保健福祉部長

1 0 組織図（令和 3 年 3 月 31 日現在）



1 1 施設定員と職員配置（令和3年3月31日現在）

施設区分	施設定員	職員配置				合 計
		正職員	契約職員	嘱託職員	嘱託医	
事務局		2	1			3
地域生活支援センター						
障害者支援施設 「摂津市立みきの路」						
施設入所支援	30	22	14	9	2	47
生活介護	40					
短期入所・日中一時支援	5					
グループホーム 「サルビア」	10	5	1	30		36
グループホーム 「ガーベラ」	5					
グループホーム 「オリーブ」	4					
グループホーム 「コスモス」	4					
グループホーム 「サクラ」	6					
グループホーム 「ヒマワリ」	15					
摂津市立児童発達支援センター						
児童発達支援センター 「つくし園」	30	14	4	1	2	21
障害児通所支援施設 「めばえ園」	10	3	1	2	1	7
児童発達支援センター 「くまさん親子教室」		3				3
多機能型事業所 「摂津市立ひびきはばたき園」						
生活介護	28	15	10	6	3	34
就労移行支援	10					
就労継続支援B型	16					
自立訓練	6					
摂津市立 身体障害者・老人福祉センター		3	1			4
摂津市障害者職業能力開発センター	20	6	2	1		9
摂津市立第1児童センター		3	2			5
摂津市障害者総合支援センター						
摂津市障害者総合相談支援 センター「ウイング」		7				7
茨木・摂津障害者就業・生活 支援センター		5	2			7
合 計		88	38	49	8	183

## 1 2 車輛管理状況（令和3年3月31日現在）

	施設	年式	取得年月日	車 輛	車両番号	年間走行距離 (Km)	所有区分	備 考
1	法人事務局	H18.1	H29.3	トヨタ バッソ 乗用車	大阪503 も 60-16	2,515	法人	
2	地域生活支援センター 摂津市立みきの路	H29.3	H29.3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 そ 15-69	10,047	法人	日本財団助成
3	〃	H30.6	H30.6	スズキ エブリイ 車椅子移動車	大阪880 あ 41-39	1,781	リース	
4	〃	H31.3	H31.3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪801 そ 37-28	7,102	リース	
5	〃	H31.3	H31.3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪801 そ 37-29	5,718	リース	
6	〃	H27.3	H27.3	トヨタ シエンタ 車椅子移動車	大阪503 ふ 58-98	1,937	リース	
7	地域生活支援センター グループホーム	H20.6	H29.3	ダイハツ タント 軽乗用車	大阪581 な 16-83	7,922	法人	
8	〃	H22.3	H29.3	ホンダ パモス 軽乗用車	大阪581 な 16-82	1,965	法人	R2.7廃車
	〃	R2.7	R2.7	日産 デイズ 軽乗用車	大阪581 や 50-96	2,584	法人	
9	〃	R3.2	R3.2	日産 デイズ 軽乗用車	大阪581 や 87-79	351	法人	
10	摂津市立児童発達支援センター	H23.2	H23.2	日産 キャラバン 送迎用ワゴン	大阪302 す 43-48	3,206	法人	日本財団助成
11	〃	H29.4	H29.4	日産 シビリアン 送迎用マイクロバス	大阪200 は 5-98	7,961	リース	
12	〃	H30.4	H30.4	ニッサン デイズ 軽乗用車	大阪581 は 12-41	3,761	リース	
13	〃	H26.8	H26.8	スズキ スクーター 原付バイク	摂津市 A 33-76	770	法人	
14	摂津市立ひびきはばたき園	H23.3	H23.3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 せ 51-66	10,010	法人	日本財団助成
15	〃	H27.8	H27.8	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪830 さ 51-13	2,963	リース	R2.8 リース満了
	〃	R2.7	R2.7	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 そ 53-39	6,807	リース	
16	〃	H28.2	H28.2	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 そ 3-25	10,130	法人	日本財団助成
17	〃	H24.3	H24.3	スバル 軽貨物	大阪480 ち 54-84	4,802	法人	
18	〃	H29.3	H29.3	トヨタ ノア ステーションワゴン	大阪503 も 91-17	11,342	法人	
19	摂津市立身体障害者・ 老人福祉センター	H28.7	H28.7	トヨタ シエンタ 車椅子移動車	大阪503 む 61-17	1,656	リース	
20	障害者職業能力開発センター せつつくすのき	H27.8	H27.8	日産 ラフェスタ ステーションワゴン	大阪302 ほ 60-87	1,415	リース	R2.8 リース満了
	〃	R2.8	R2.8	トヨタ シエンタ 車椅子移動車	大阪504 ち 68-65	3,104	リース	
21	摂津市障害者総合支援センター	H23.3	H23.3	スズキ アルト 軽乗用車	大阪580 ま 4-15	5,904	法人	日本財団助成
22	〃	H26.8	H26.8	スズキ スクーター 原付バイク	摂津市 A 33-75	1,108	法人	
23	〃	R1.7	R1.7	トヨタ アクア 乗用車	大阪504 せ 75-94	2,264	リース	

## 2 地域生活支援センター

### I 障害者支援施設「摂津市立みきの路」

#### 1 施設入所支援・生活介護

##### (1) 概況

利用者一人ひとりが自分らしく生き生きとした生活が送れるよう、自立に向けた意思決定の支援、障がい特性に合わせた個々の支援を行いながら、安全で安心した生活や活動が送れるよう努めた。

##### ① 新型コロナウイルス感染症対策

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により、行事や活動内容だけでなく、日常生活の全てにおいて新しい取り組みが必要となった。利用者には受け入れにくいことも多く、障がい特性からマスクの着用ができない利用者や、他者のマスクを外そうとする利用者もいたため、感染予防が十分にできない状況が続いた。しかし、「利用者を守る」「職員を守る」「家族を守る」をスローガンに、「最悪を想定し、最善を尽くす」ことに取り組んだ。

クラスター発生時を想定し各フロア間の行き来を制限したため、日課や活動は3フロア合同での取り組みから各フロアでの取り組みに変更し、オンライン（Zoom）とプロジェクターを使った新しい形での行事などを取り入れた。

地域生活支援センターは、大阪府、摂津市、その他関係機関から情報を集め、独自の「ロードマップ」を作成し、リーダー会議で見直しを行いながら対応した。また、法人内職員の応援体制を含む対応マニュアルの作成、防護服等の衛生品や、ゾーニングに必要なパーティション等の購入を行い、万が一に備えた。

##### ② 大規模修繕工事

春に予定していた工事が、新型コロナウイルス感染症の影響で秋に延期になったが、終息の目処が立たないため、令和3年度に延期となった。

##### ③ 地域生活支援拠点事業の推進

令和3年3月、オーダーメイド型のグループホームを開設し、施設入所支援から1名、生活介護（通所）から3名の利用者が入居した。入居者が安心して生活できるよう、施設入所支援の職員が朝、夕数日間支援に入り、利用者への支援や、グループホームの職員に支援の引継ぎを行い、アフターフォローを行った。

##### ④ サービスの質の向上

利用者の高齢化に伴う身体機能の低下により、日常生活のいろいろな場面で、環境の整備が必要になっている。そのため、3階浴室（男性）に介護浴槽を設置し、安全で快適な入浴ができるようにした。また、2階はリフト浴があるが、利用者の安全と自立を考え、

同様の浴槽を令和3年度に設置する予定である。

快適な生活、活動空間を提供するため、2階、3階フロアのじゅうたんをクッション性の床に張り替え、各フロアの洗面台を新しく取り換えた。

第三者評価を受審予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年度に受審する予定である。

#### ⑤ ホームページの活用

風通しの良い施設を目指し、日々の活動の様子や行事などの取り組みを、ホームページを活用し情報発信した。インターネットの利用が難しいご家族もおられるため、今まで通り「みきのみちつうしん（機関紙）」を年に5回発行し、ホームページ同様に日々の様子を載せ、ご自宅や成年後見人に郵送で配布した。

#### ⑥ 防災拠点としての整備

福祉避難所として、摂津市と協力しながら必要な備蓄品、防災グッズの確保を行った。

### (2) 支援の状況 【施設入所支援 ・ 生活介護（通所）】

#### ■施設入所支援

利用者に、施設入所支援と、平日及び土曜、祝日の日中は生活介護を一体的に提供した。

サービスの提供に当たっては、利用者の安全に配慮しつつ、利用者の個人としての尊厳やニーズを尊重し、それぞれの障がい特性、心身の状態に応じて、ひとり一人の利用者が健康で生きがいのある生活を送れるよう、様々な活動や生活支援を行った。

新型コロナウイルス感染予防対策として、帰宅、面会、外出の自粛をお願いし、診察が必要な受診以外は職員が代理で受診した。帰宅の代替えとして、ご家族には毎月手紙と写真を送り利用者の様子を伝えた。面会については、オンラインを活用した面会を行い、ご家族との時間を大切にした。外出の代替えとして、余暇時間のドライブや、近隣のコンビニエンスストアでの買い物の頻度を増やし、外に出る楽しみを継続した。

#### ① 個別支援計画

相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画書」をもとに、利用者のエンパワメントに着目しながらアセスメントを行い、利用者のニーズや家族のニーズを踏まえ、看護師や主治医にも相談しながら短期間で達成できるより具体的な目標を設定し、個別支援計画を作成し支援を行った。

#### ② 生活支援

居室整理・清掃・洗濯・シーツ交換・布団干し・入浴準備等、生活に必要な支援を行い、感染予防の徹底や清潔に配慮し、生活しやすい環境と住みやすい空間の提供に努めた。また、利用者の身体の状態に応じた補装具を使用できるように、理学療法士に相談しながら補装具の工夫や取換えを行った。

食事は、栄養士が栄養管理を行い、利用者の嗜好調査を参考にしながらメニューを考え、

利用者の嚥下、咀嚼状況に合わせた食事形態で提供した。各フロアの食堂は、新型コロナウイルス感染予防対策として、テーブルをパーティションで仕切り、利用者同士の距離を空けて座れるよう工夫した。

### ③ 入浴

利用者が、心身ともにリラックスできるよう、週に4回入浴サービスを提供した。利用者の身体の状況に応じ、一般浴と機械浴（リフト浴槽、介護浴槽）を利用した。また、新型コロナウイルス感染予防対策として、浴室が密にならないよう、入浴支援の見直しを行った。

### ④ 誕生会

月に1度、誕生月の利用者とともに、ケーキを食べながらお祝いした。

### ⑤ 理髪

月に1度、摂津理美容組合より1名と、同じく月に1度、美容師の方2名が施設内の部屋を活用し、利用者の理髪を行った。新型コロナウイルス感染予防対策として、密になることを防ぐため二部屋に分かれて行った。

### ⑥ 余暇活動

新型コロナ感染予防対策を講じたうえで、散歩・近隣での買い物・制作・カラオケ・ドライブ・室内スポーツ等、利用者が楽しくいきいきとした生活を営めるよう、利用者の希望に沿ったレクリエーション活動を行った。

### ⑦ 健康管理

利用者が、心身ともに安定した生活が営めるよう、看護師を中心に、日常的な健康管理を行った。また、定期通院や、突発的な体調の変化が見られた時は、医療機関を受診し、早期治療に努めた。

#### (ア) 診察

嘱託医、協力医等の来所による診察を受けた。

嘱託医（精神科）	毎月1回
嘱託医（内科）	毎月1回
歯科	毎週火曜日 女性、毎週金曜日 男性
精神科医	毎月2回
鍼灸師	新型コロナウイルス感染予防の観点から、令和2年度の受診は中止した。

(イ) 健康診断 (医療機関：千里丘協立診療所・場所：1階社会適応訓練室)

実施日	内 容	受診人数
9月25日	身体測定(身長、体重、血圧、腹囲)、血液検査、尿検査、問診、胸部レントゲン、心電図	29
3月26日	身体測定(身長、体重、血圧、腹囲)、血液検査、問診	27

(ウ) インフルエンザ予防接種

嘱託医(内科)の往診時に、インフルエンザの予防接種を行った。

(エ) 医療機関受診状況(延べ人数)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	16	13	11	8	18	14	14	13	16	11	11	17	162
神経内科	3	1	2	2	4	0	0	2	3	2	0	0	19
循環器内科	0	1	0	2	0	1	1	1	0	0	0	2	8
整形外科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
歯科	98	101	115	112	100	101	115	87	107	85	83	80	1184
精神科	25	27	23	25	27	30	25	26	26	26	25	24	309
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
皮膚科	0	1	0	3	0	0	0	2	0	0	0	0	6
肛門科	4	4	4	6	4	4	4	4	3	3	3	3	46
便秘専門外来	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4
睡眠外来	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	4
ストーマ外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器内科	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	5
婦人科	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	4
救急外来	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	148	150	156	163	155	151	161	139	159	128	125	127	1762

## ■生活介護（通所）

利用者の個人の尊厳やニーズを尊重し、利用者の障がい特性や、心身の状態に応じて、生きがいや、やりがいを感じられる文化的活動や創作活動、身体能力の保持を目的とした身体運動、自立と社会参加を支援する社会適応訓練を提供した。また、給食サービス（昼食）、リフト付きワゴン車（3台）での送迎サービスを実施した。

利用者の障がい特性やご家族の介護状況などを鑑み、「緊急事態宣言」が発出後も、感染症対策を講じ開所を続け、感染の不安によりしばらく休まれた方には電話で様子をうかがうなど、いつでも利用していただける体制を整えた。

### ① 個別支援計画

相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画」をもとに、利用者のエンパワメントに着目し、住み慣れた地域で生活できるよう、利用者の心身の状態や障がい特性を把握し、利用者や家族のニーズを踏まえて、短期間で達成できるより具体的な目標を設定し、具体的な個別支援計画を作成し支援した。

### ② 活動

月案と日案を作成し、一日の流れにメリハリをつけ、活動内容の充実を図った。また、療育的活動にも着目し、利用者の障がい特性に応じた活動、支援に取り組んだ。

#### （ア）個別活動

個別支援計画をもとに、利用者の障がい特性やエンパワメントに着目した個別のプログラムを作成し、身体機能の維持、向上や集中力を高める活動を取り入れた。

#### （イ）制作

季節感を味わえるよう、季節に応じたガラス扉の制作、ロビー及び廊下の作品展示や飾り付けなどを行った。利用者の特性に応じ、塗る・貼る・切る等の工程を分担して行った。

#### （ウ）館内清掃

利用者の特性に応じ、役割を決めて施設内の清掃を実施した。

#### （エ）散歩・外気浴

身体機能の維持、気分転換、運動不足解消等を目的とし、施設周辺や町内、近隣の公園へ散歩に出掛けた。活動時間が少ない時は、施設前を歩きながら外気浴を実施した。

### ③ 入浴

自宅での入浴が困難な利用者に対し、希望される方には、週に一度入浴サービスを提供した。また、利用者の身体状況に応じて、一般浴と機械浴を使用した。

#### ④ 家族との連携

連絡ノートを利用し、利用中の様子を家族に伝えるとともに、自宅での様子を連絡ノートに記載してもらい、利用者の様子や連絡事項を家族と共有できるようにした。また、利用者の身体の状態を家族に伝え、補装具の調整や、必要なサービスの提供を行った。特に令和 2 年度は、家族から支援の相談だけでなく、新型コロナウイルス感染症に対する不安による相談も多かったため、感染症予防対策についての情報提供や、電話での対応も行った。

#### ⑤ 健康管理

利用者の健康状態を把握するため、来所時の検温と血圧測定に加え、自宅での体調を把握できるよう健康チェック表を作成し、毎日検温等の健康チェックをお願いした。健康状態に変化が見られた時は、看護師に相談するとともに、家族に電話で状況を伝え、必要に応じて受診の必要性を説明した。

##### (ア) 健康診断

病気の早期発見、治療を目的とし、普段病院へ行くことが困難な利用者に対して、希望される方のみ嘱託医による健康診断を実施した。

実施日	内 容	受診人数
9 月 25 日	身体測定（身長、体重、血圧、腹囲）、血液検査、尿検査、問診、胸部レントゲン、心電図	4

##### (イ) インフルエンザ予防接種

病院へ行くことが困難な利用者に対して、希望される方のみ嘱託医によるインフルエンザの予防接種を実施した。

### ■ 合同活動

#### ① グループ活動

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、利用者が階をまたいだ交流を避けたため、合同活動は中止した。代替えとして、フロアごとの活動を行った。

制作は、季節感や行事に合わせたものを作成し、廊下や窓、玄関に飾り楽しんだ。スポーツは、体を動かすだけでなく競技形式で実施したり、ゲームソフトを使用して取り組む等、フロアごとに工夫を凝らした。

##### (ア) おやつ作り

各フロアごとに 2 週間おきに実施した。栄養士が利用者の希望を聞きながらおやつを作り、器や盛り付けを工夫し提供した。また、令和 2 年度は新しいメニューを考え、作り方をホームページに載せた。

##### (イ) 音楽療法

利用者の心身の安定や潤いのある生活をめざし、換気をしながら利用者間の距離を

空け、ビニールシートで仕切りを作り実施したが、新型コロナウイルスの感染が拡大したことや、音楽療法がオンラインで受けられるようになったため、各フロアごとにオンラインとプロジェクターを使用して実施した。

(ウ) ひびきはばたき園との交流

新型コロナウイルス感染予防の観点から、行事や活動での交流は実施できなかったが、生活介護（通所）の合同送迎は、感染予防対策を講じながら実施した。

(エ) グループ外出

令和元年度の終わりから、外出先やメンバー構成を検討していたが、新型コロナウイルス感染予防の観点から、令和2年度は中止した。代替えとして、利用者に食べたいものを尋ね、月に1度デリバリー昼食を実施した。

② 絵画教室

絵画は、講師と密接しながら作品を作っているため、実施について検討を行ったが、新型コロナウイルス感染予防の観点から、令和2年度は中止した。

(3) 定員及び利用状況（令和3年3月31日現在）

① 定員及び利用人数

(ア) 利用実人数

■施設入所支援 定員 30名（男性 16名・女性 14名） (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	191
女	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13	167
計	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	28	358

■生活介護（通所） 契約者数 14名（定期利用 13名・不定期利用 1名） (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	8	8	8	8	8	8	8	8	8	9	9	9	99
女	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
計	13	13	13	13	13	13	13	13	13	14	14	14	159

## (イ) 利用延人数(通所)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	118	87	157	146	128	137	157	136	139	131	122	158	1616
女	68	59	105	92	91	91	107	92	90	89	84	107	1075
計	186	146	262	238	219	228	264	228	229	220	206	265	2691
支援日数	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243
平均人数	8.8	8.1	11.9	11.3	10.9	11.4	12.0	12.0	11.4	11.5	11.4	11.5	11.0

## ② 利用者の状況

## (ア) 年齢

## ■施設入所支援

(人)

	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上	合計
男	0	1	3	4	5	2	15
女	0	0	0	7	4	2	13
計	0	1	3	11	9	4	28

## ■生活介護(通所)

(人)

	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上	合計
男	0	5	1	2	1	0	9
女	0	1	1	1	0	2	5
計	0	6	2	3	1	2	14

(イ) 手帳の所持状況

■施設入所支援

【療育手帳】 (人)

	A	B1	B2	合計
男	15	0	0	15
女	12	1	0	13
計	27	1	0	28

【身体障害者手帳】 (人)

	1級	2級	3級	4級	5級	なし	合計
男	3	0	0	0	1	11	15
女	3	4	2	1	0	3	13
計	6	4	2	1	1	14	28

■生活介護（通所）

【療育手帳】 (人)

	A	B1	B2	なし	合計
男	9	0	0	0	9
女	5	0	0	0	5
計	14	0	0	0	14

【身体障害者手帳】 (人)

	1級	2級	3級	4級	5級	なし	合計
男	3	1	1	0	0	4	9
女	3	0	0	0	0	2	5
計	6	1	1	0	0	6	14

(ウ) 障害支援区分

■施設入所支援 (人)

	区分6	区分5	区分4	合計
男	4	8	3	15
女	8	4	1	13
計	12	12	4	28

■生活介護（通所） (人)

	区分6	区分5	区分4	区分3	合計
男	4	5	0	0	9
女	3	0	2	0	5
計	7	5	2	0	14

#### (4) 行事

##### ① 施設行事

通年	グループ外出	施設入所支援 生活介護	中止。 代替えとして月に1度デリバリー昼食を実施。 余暇時間のドライブの回数を増やした。
5月21日	音楽コンサート	合同（家族参加）	中止。
7月24日	納涼会	施設入所支援 生活介護（希望者）	中止。 代替えとして、8月26日花火、10月8日お祭りを、密を避けながら実施し、それぞれオンラインとプロジェクターでフロアでも観れるようにした。
10月8日	運動会（室内）	合同	各フロアごとにオンラインとプロジェクターを使用して実施した。
11月5日	摂津高校和太鼓 コンサート	合同	中止。
12月16日	クリスマス会	合同	各フロアごとにオンラインとプロジェクターを使用して実施した。

##### ② 地域行事

例年参加している、大阪府障がい者スポーツ大会（フライングディスク）、摂津まつり、桜町自治会盆踊り、三中フェスタ、輪い輪い祭り、風船バレーボール大会は、新型コロナウイルス感染症により、中止又は、規模を縮小して実施されたため、令和2年度の地域行事への参加はなかった。

##### ③ 法人行事

摂津宥和会運動会及び、つくっ展とかがやけコンサートは、新型コロナウイルス感染症により中止になった。

## (5) 防災

① 災害時に備えるために、防災設備の点検を行った。

第1回目	10月23日
第2回目	3月30日、31日

② 利用者参加のもと、避難訓練を3回実施した。

第1回目	11月18日（火災、通報訓練）
第2回目	1月20日（火災、通報訓練、夜間想定）
第3回目	3月8日（地震による火災、消火訓練）

③ AED使用法の講習

新型コロナウイルス感染症により実施できなかった。

④ 防犯訓練

新型コロナウイルス感染症により、例年通りの方法で実施できなかったため、日本防災通信協会が作成した「社会福祉施設における防犯対策」のDVDを観る研修に変更した。

## (6) 実習生の受け入れ

実習依頼のあった大阪成蹊短期大学と事前に感染予防と健康管理について打ち合わせを行い、実習2週間前から健康チェックをお願いし、生活介護（通所）での実習生を2名受け入れた。

## (7) 施設見学・交流

東淀川支援学校と箕面支援学校から、教員と保護者の見学依頼があり、新型コロナウイルスの感染者が少ない時期に、短時間での生活介護（通所）の見学を受け入れた。

## (8) 進路説明会

支援学校の進路説明会は、新型コロナウイルス感染予防の観点から人数制限などあり参加できなかったが、支援学校から依頼のあった説明会用の資料の作成を行った。

## (9) 職員研修

職員の専門性を高め、より質の高いサービスを提供するため、外部研修への参加を積極的に行っているが、新型コロナウイルス感染予防のため、複数の研修が中止又は、オンライン研修となった。また、施設内研修で講師を招いて感染症対策の研修を予行う予定であったが延期した。

実施日	研修名	場所	主催	職種
7月23日	施設管理者・利用者向け新型コロナウイルス発生・拡大防止研修	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市施設管理公社	施設長 主任2名
9月1日	安全運転管理者等講習会	吹田市文化会館メイシアター	大阪府公安委員会	施設長
9月28日	強度行動障がい支援者養成研修	大阪府教育会館たかつガーデン	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員
10月15日	強度行動障がい支援者養成研修	大阪府教育会館たかつガーデン	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員
10月21日 22日	ファシリテーション研修 (基礎編)	大阪府社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会	支援員
10月22日	通所介護・デイサービスにおけるリスクマネジメント	大阪府社会福祉会館	大阪府地域福祉推進財団	支援員
11月5日	障害者支援施設部会栄養士研修会	オンライン研修	大阪知的障害者福祉協会	栄養士
11月11日	リスクマネジメントに関する研修	大阪府社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会	支援員
11月12日	感染症・食中毒予防対策講習会	クレオ大阪中央ホール	大阪府社会福祉協議会	支援員
11月19日	感染症・食中毒予防対策講習会	クレオ大阪中央ホール	大阪府社会福祉協議会	支援員
12月 (動画公開期間に受講)	障がい者虐待防止・権利擁護研修	オンライン研修	大阪府福祉部障がい福祉室 障がい福祉企画課 権利擁護グループ	支援員
3月16日	対人援助職としての基本的な姿勢とマナー	大阪府社会福祉会館	大阪知的障害者福祉協会	支援員

## 2 短期入所 定員5名(男性3名・女性2名)

介護者の疾病その他の理由により、一時的に居宅での生活が困難となった方や、相談支援事業所が作成したサービス等利用計画に基づいて利用される方に対し、施設入所支援の日課に沿いながら、個別の支援を提供した。

新型コロナウイルス感染予防の観点から、短期入所利用者には第一回目の緊急事態宣言発出後に利用の自粛をお願いしたが、ご家族の長期入院等により日常生活を営むことが困難な方については、利用の2週間前から利用者及びご家族の健康チェックと、利用者が通所されている事業所に健康管理をお願いし受け入れた。また、緊急的に利用が必要な方については、PCR検査の受検をお願いし受け入れた。また、摂津市障害福祉課には、利用自粛対応の相談を市、相談支援事業所には、利用自粛に協力いただいている方の報告を行った。

(1) 利用延人数

【成人】

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	32	0	30	31	14	14	5	0	0	31	28	31	216
女	17	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
計	49	8	30	31	14	14	5	0	0	31	28	31	241

【児童】

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 日中一時支援事業

介護者の疾病その他の理由により、一時的に居宅での生活が困難となった方に対し、日帰りでのサービスを提供した。

新型コロナウイルス感染予防の観点から、利用の自粛をお願いしていたが、ご家族の状況や利用者の障がい特性から、個別に利用の相談があった方については、1階フロアを利用していただくなど、できる範囲での受け入れを行った。

(1) 利用延人数

【成人】

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	18	17	22	20	19	20	22	19	20	19	18	23	237
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	18	17	22	20	19	20	22	19	20	19	18	23	237

【児童】

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

#### 4 緊急一時保護

平成24年10月に障害者虐待防止法が施行されたことに伴い、令和2年度も摂津市と「緊急一時保護等のための居室の確保（1床）」の覚書を締結した。

## II 共同生活援助（グループホーム） 短期入所（ショートステイ）

### （1）概況

地域生活支援拠点等事業を面的整備型で担う為に、令和3年3月に地域生活支援センターヒマワリを開所した。ヒマワリにはグループホーム10床と短期入所5床を備え、拠点等事業の重点項目である緊急時の受け入れ、体験利用の場の確保を担う事を主な目的とした。

引き続き地域生活支援拠点等事業コーディネーターを管理者が兼務し、拠点等事業の重点項目である地域の体制作り、専門性の確保を実現させる為、摂津市障害者地域自立支援協議会相談支援部会及び地域移行部会に参加し、地域課題や実情の把握に努め、関係機関との連携強化に努めた。

具体的には、相談支援部会内のワーキングに参加し、市内事業所のサービス管理責任者の質の向上を目的とする研修会の立案、事業所における新型コロナウイルス感染症発生時に迅速な情報共有が出来るシステムの構築を行った。

世話人全体会議については新型コロナウイルス感染症予防で開催頻度を減らしたが、各ホーム人数を限定した世話人会議、必要に応じた世話人個別面談を行った。併せて可能な限り外部研修には参加し、支援スキルや知識の向上、法制度の周知を図った。

新規利用者の見学や体験利用の受入を行うとともに、入居者に対して共同して生活を営む事を通じて、個人の能力を生かしながら、地域との接点を持つ事が出来るように支援を行った。また、障がいのある人も地域で当たり前暮らし共生社会づくりを目指して、取り組みを行った。

結果として、1名の利用者が一人暮らしに移行、1名の利用者が他法人のサテライト型グループホームへ移行、1名の利用者はご家族との暮らしを再開された。

サルビアにて体験利用を続けていた利用者1名が本入居の流れで最終協議に入っている。

地域生活支援センターの取り組みとして、地域移行プロジェクトを継続して行い、グループホームのサービス管理責任者が中心となり、地域生活の実情や地域移行に必要な支援の組み立てなどを入所施設の職員と情報共有を行った。

短期入所については今年度の稼働実績は無く、次年度に向けた受け入れの準備、面的整備での緊急時の受け入れを行うにあたっての近隣短期入所事業所との打ち合わせを行った。空床の情報共有については、基幹相談支援センターと打ち合わせを行い、近隣短期入所事業所とのネットワーク作りの方法を検討している。

摂津市立みきの路との受け入れの割り振り方なども協議しており、早期の短期入所の稼働を目指す。

(2) 定員及び利用状況 (延べ利用者数)

◎サルビア (利用定員 10名 女性)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	260	263	262	271	266	262	279	261	277	263	244	271	3,179
体験利用	0	0	0	0	6	9	0	8	2	0	0	7	32
1日平均	8.7	8.5	8.7	8.7	8.8	9.0	9.0	9.0	9.0	8.5	8.7	9.0	8.8

◎ガーベラ (利用定員 5名 女性)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	112	124	1,460
体験利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1日平均	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0

◎オリーブ (利用定員 5名 女性)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	146	155	150	155	155	150	155	150	155	155	140	155	1,821
体験利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1日平均	4.9	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0

◎コスモス (利用定員 4名 男性)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	106	93	90	93	93	90	93	90	93	93	84	93	1,111
入院	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1日平均	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

◎サクラ (利用定員男性 4名 女性 2名)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	163	161	154	163	145	141	132	147	138	124	112	144	1,724
体験利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20
入院	0	0	0	0	0	7	21	0	0	0	0	0	28
1日平均	5.4	5.2	5.1	5.3	4.7	4.7	4.3	4.9	4.5	4.0	4.0	5.3	4.8

◎ヒマワリ（利用定員男性 8 名 女性 2 名）

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居日数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	188	188
体験利用	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0
1日平均	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	6.1	0.5

(3) 入居者の状況（令和3年3月31日現在）

（単位：人）

◎サルビア

■年齢構成

20代	30代	40代	50代	60代	合計
1	2	3	2	1	9

■障害支援区分

区分2	区分3	区分4	区分5
1	2	4	2

■手帳所持状況

療育手帳 A	療育手帳 B 1
7	2

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援 B 型
7	2

◎ガーベラ

■年齢構成

40代	50代	60代	合計
1	2	1	4

■障害支援区分

区分3	区分4
1	3

■手帳所持状況

療育手帳 A	療育手帳 B 1	精神保健福祉手帳 2 級
1	2	1

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援 B 型
3	1

◎オリーブ

■年齢構成

20代	40代	50代	合計
3	1	1	5

■障害支援区分

区分1	区分2	区分3	区分4
1	2	1	1

■手帳所持状況

療育手帳 B 1	療育手帳 B 2
2	3

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援 B 型	就労
1	2	2

◎コスモス

■年齢構成

20代	40代	50代	合計
1	1	1	3

■障害支援区分

区分 2	区分 3	区分 5
1	1	1

■手帳所持状況

療育手帳 A	療育手帳 B 2
1	2

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援 B 型	就労
1	1	1

◎サクラ

■年齢構成

20代	40代	50代	60代	合計
1	1	1	1	4

■障害支援区分

区分 3	区分 4
3	1

■手帳所持状況

療育手帳 A	精神保健福祉手帳 2 級	身体障害者手帳 2 級
2	1	1

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援 B 型	就労
1	2	1

◎ヒマワリ

■年齢構成

20代	30代	50代	合計
3	5	1	9

■障害支援区分

区分 4	区分 5	区分 6
3	4	2

■手帳所持状況

療育手帳 A
9

■日中活動状況

生活介護
9

#### (4) 支援の状況

入居者には、平日の夜間及び土日祝日、年末年始はホームで暮らすという事で、個々に必要なサービスを提供した。支援にあたっては、家庭的な雰囲気を最優先に考え、日常生活において個々のニーズに合わせて自立と社会参加が出来るように、日常生活上の配慮を重点に置いて支援を行った。昼間の活動は生活介護等、日中活動の場を利用した。土日祝日に関しては、コロナ禍で移動支援を利用した外出を控えて頂いたが、ホームでも余暇を楽しめるように、デリバリーでの食事提供や週替わりのスイーツの提供、感染予防を徹底した職員との近隣散歩などを実施し、余暇の充実を図った。

茨木・摂津障害者就業・生活支援センターとも引き続き連携を深め、会社訪問の機会も設定した。転職を希望された利用者には面談の時間を多く設けて、今後の見通しや将来のビジョンを丁寧に聞き取りながら支援を行った。

就労先での人間関係に悩んでいた利用者 1 名について、転職の支援を行ったが結果として再就職出来なかった。利用者の特性を考え、本人と両親も交えた検討の結果、就労継続支援 B 型に活動の場を移し、現在は毎日意欲を持って通所出来るようになった。

食事提供には、加齢と重度化により誤嚥防止に対する対応を強化し、しっかりとよく噛み、味わって食するように声を掛け、場合によっては刻み食対応やお粥の提供など、利用者の障がい特性の変化に柔軟に対応すべく、主治医との意見交換も積極的に行った。

家族の高齢化が顕著で、外泊出来ない利用者は年々増えている。ゴールデンウィーク、お盆、正月などの長期の休日については、日中活動の場も休みである事から、各ホームにおいては季節に応じたイベントを行うなど楽しみの提供を積極的に行った。

また、市役所などへの手続きも家族に代わって行う頻度が増えた。サービス管理責任者と相談支援専門員を中心に、ご家族との協議を重ね、1 名の利用者の成年後見制度の利用を開始した。

#### (5) 個別支援計画

入居者それぞれの多様なニーズに対応するために、6ヶ月に 1 回、アセスメントを行い、個別支援計画書を作成し、個々のニーズに合わせたサービス・支援を提供した。

相談支援事業所の作成するサービス等利用計画とも整合性を持たせ、サービス担当者会議で入居者の生活状況を情報共有し、個別支援計画に反映させた。

みきの路入所利用者の地域移行を目指した個別支援会議にサービス管理責任者が入り、グループホームで必要となる生活スキルや支援方針の情報共有を行い、個別支援計画書の作成のサポートに当たった。結果として、ヒマワリの利用に繋がり、1 名の地域移行を実現させた。

#### (6) 健康管理

日常より、世話人がバイタルチェックや入居者の様子等の把握に努めた。サービス管理責任者への申し送りや、状況に応じての定期受診、その他必要に応じて臨時受診を行った。

健康診断についてはそれぞれの日中活動の事業所での受診に併せ、その他の検診（各種

がん検診) や歯科検診に同行した。その結果を各主治医に提出し、健康状態の把握に努めた。定期通院で配慮のいる方については、通院同行を行った。必要に応じて通院等介助の利用で対応した。一人で通院される入居者については、主治医と書面や電話での情報交換を行った。歯科通院については、利用者の障がい特性を考慮し訪問歯科診療の導入を検討し、利用者と家族の意向を聞き取り、サルビアの利用者に訪問歯科診療を導入した。

その結果、日中活動事業所への遅刻・早退が無くなり、利用者の生活リズムを安定させる事が出来た。また、住み慣れた環境での歯科診療となり、歯科通院に抵抗のあった利用者もスムーズに歯科診療が受けられるようになった。

服薬が不十分な方に対して、誤薬等が無いように世話人で管理をして、声掛けや手渡しを行い、服薬管理に努めた。服薬ミスが無いように、世話人は声出し確認、配薬チェック表の利用、口腔内の残薬確認の徹底を行った。

生活習慣病の予防と悪化防止の目的で、全ホーム統一した栄養管理の徹底を継続する為に、NPO 法人摂津市サポートビューローに委託した配食サービスを継続した。

ヒマワリに関しては、毎食の配食サービスを必要とする観点から、株式会社ヨシケイの配食を導入し、栄養管理と支援に費やす時間の確保を行った。

全ホームにAEDを設置し、玄関前にAED設置のステッカーを貼り、近隣住民からの要請に貸し出しを行う取り組みを行い、社会貢献、地域貢献の意識を高めた。

コロナ禍で、今年度の消防職員によるAED講習会は実施出来なかったが、AED使用手順のDVDを各ホームに配布した。

## ■医療機関受診・往診状況

◎サルビア

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	5	3	3	3	5	3	2	5	3	1	1	3	37
精神科	4	3	4	3	4	3	3	4	2	3	2	3	38
婦人科	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	4
皮膚科	2	1	0	2	1	4	1	1	1	3	4	5	25
歯科	4	5	1	3	2	5	2	5	4	7	13	31	82
訪問看護	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
合計	19	16	13	15	16	20	12	19	15	18	24	47	234

## ◎ガーベラ

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	4	2	2	4	3	2	3	3	3	2	2	2	32
整形外科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
精神科	1	1	1	1	2	1	0	2	1	1	1	1	13
眼科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
皮膚科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
肛門科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
歯科	0	1	0	1	1	5	0	1	0	1	0	2	12
訪問看護	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
訪問リハ	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
合計	17	16	16	20	18	20	15	18	16	17	16	17	206

## ◎オリーブ

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	0	2	3	1	0	0	1	1	0	1	0	0	9
外科	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
精神科	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
眼科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
耳鼻科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
脳神経内科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4	0	6
皮膚科	1	2	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	8
合計	3	7	4	4	1	2	3	3	2	4	5	2	40

## ◎コスモス

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
精神科	1	1	1	1	1	1	0	2	1	1	1	1	12
合計	1	1	1	1	1	1	0	2	1	1	1	1	12

## ◎サクラ

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	0	3	1	2	3	4	4	2	3	0	4	0	26
整形外科	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
精神科	1	3	2	1	3	5	1	1	0	0	0	0	17
泌尿器科	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	4
婦人科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
歯科	1	3	2	3	3	2	2	3	0	3	3	1	26
合計	3	10	7	6	10	13	8	6	3	3	7	1	77

## ◎ヒマワリ

通院実績無し

## (7) 日中活動

日中活動の事業所とは必要に応じて連携を取り、入居者の状況や支援の方向性での情報共有をした。相談支援事業所や医療機関、ヘルパー事業所とも連携し、定期的及び必要に応じ随時、ケース会議を開催した。

就労していた利用者が福祉サービスを利用する事になったケースが2例あり、本人の気持ちの切り替えや自尊心を損なわないように、慎重な支援を行った。

ヒマワリについては、入居前のサービス担当者会議や各事業所間での綿密な打ち合わせを行い、入居後もそれぞれの利用者の障がい特性に合わせてサービス担当者会議の頻度を調整した。

## (8) レクリエーション・行事

今年度はコロナ禍で、地域や各種団体の活動には参加出来なかった。

例年、各ホームで行っていた誕生会や季節のイベントも自粛した。

生活のめりはりや楽しみの提供として、毎週1回、週替わりで食後のスイーツを職員が配達したり、季節イベントの時期にはデリバリーで食事を注文するなどの取り組みを行った。

## (9) 災害防止・防犯対策

各ホームに災害時の避難場所とハザードマップを活用した危険箇所、災害時の連絡方法を記載した書類を目に付く場所に掲示し、有事の際に円滑に確認出来るように配慮した。

全ホーム「洪水時の避難確保計画」を作成し、全職員が閲覧出来るように掲示をし、日頃の外出や散歩の際にも利用者にも説明を行う事を徹底した。

ヒマワリの館外 3 か所に防犯カメラを設置し、ホームの防犯目的はもちろん、近隣の防犯にも役立つように、道路や公園も映る角度で設置を行った。

夜間支援も継続して行い、夜間の見守りや排泄介助等の個別支援、緊急時の迅速な対応に備えた。

災害時の安否確認や迅速な情報伝達的手段として新規採用の職員にも、セコム安否確認サービスの登録を完了させた。

#### (10) 職員研修等

今年度はコロナ禍で外部研修も自粛されたケースが多く、例年よりは格段に研修参加の回数は減った。オンラインでの研修会や、感染予防を徹底した研修会には参加した。

例年は世話人会議でその伝達研修を行っていたが、世話人会議の回数も減らした事で、伝達研修も実施出来なかった。

#### ◎研修会・会議・部会等

実施月日	研修名	場所	主催	参加者
8月17日	障がい等福祉従事者研修 (世話人研修)	大阪社会福祉 指導センター	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会	世話人
7月25日	施設管理者・利用者向け 新型コロナウイルス発生・ 感染拡大防止研修会	摂津市立 コミュニティ プラザ	一般社団法人 摂津市施設管理公社	サビ管
9月2日 9日28日	福祉職員キャリアパス 対応生涯研修(初任者)	大阪社会福祉 指導センター	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会	支援員
10月16日	社会福祉施設等における 新型コロナウイルス 感染症対策について	摂津市民文化 ホール	大阪府	支援員
11月13日	触法障がい者・触法高齢 者への福祉的支援に ついて	摂津市立 コミュニティ プラザ	摂津市障害者地域 自立支援協議会	サビ管
12月7日 21日	グループホーム世話人等 研修会	7日(オンライン) 21日(大阪府 咲洲庁舎)	大阪府自立相談支援 センター	世話人
1月29日	障がい等福祉従事者研修 (世話人研修)	大阪社会福祉 指導センター	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会	世話人
3月2日 3日	大阪府サービス管理 責任者等更新研修	大阪府社会福祉 会館	一般社団法人 大阪府 地域福祉推進財団	管理者 サビ管

◎摂津市内グループホーム連絡会

年4回開催予定であったが、今年度はコロナ禍で全て中止

◎ホーム別世話人会議

実施月日	ホーム名	場所	人数
2月26日	ヒマワリ	ヒマワリ	11人

◎世話人全体会議

実施月日	開催場所	参加人数
12月17日	みきの路	8人

(11) 各種会議

◎摂津市自立支援協議会相談支援部会

実施月日	開催場所	参加者
毎月第2水曜日	摂津市障害者総合支援センター	管理者

◎摂津市自立支援協議会相談支援部会新型コロナ発生時対応策検討ワーキング

実施月日	開催場所	参加者
1月19日	摂津市障害者総合支援センター	管理者
2月9日	摂津市障害者総合支援センター	管理者
3月4日	摂津市障害者総合支援センター	管理者

◎摂津市自立支援協議会地域移行部会

実施月日	開催場所	参加者
7月21日	摂津市地域福祉活動支援センター	管理者
3月8日	書面開催	管理者

(12) 社会貢献事業

◎大阪しあわせネットワーク支援状況

今年度の支援要請は無かった。

◎こども食堂

会場としていた摂津市立別府コミュニティセンターが新型コロナウイルス感染症対策で飲食を伴う活動が不可となり、今年度は実施出来ず。

### (13) 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う措置

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、大阪府及び摂津市の通知にならい、今年度も不要不急の外出（外泊）と面会の自粛を利用者と家族に通知した。

障がい特性上及びやむを得ない理由で外出（外泊）を希望される利用者と家族の個別の相談には応じ、健康観察と行動履歴の記録、家庭での感染予防の徹底をお願いした。

通所、通勤などで外出する際にはマスク着用の徹底を促し、公共交通機関を利用して通勤する利用者には携帯用手指消毒剤を提供し、予防の意識を持つように促しを行った。

手指消毒剤は全ホームの玄関にも設置し、帰所時の手指消毒の徹底とうがいの励行を促し、世話人によるホーム内の共用部分の消毒も徹底した。

職員にも出勤前に自宅での検温を義務付け、37.5℃以上の場合は出勤不可、37.5℃未満の場合は施設長へ報告の上、出勤の判断を求めるように通知した。

利用者にも朝・夕最低2回の検温を実施し、通常よりも手厚く体調管理を行った。

新型コロナウイルス感染拡大が顕著な中、利用者が濃厚接触者として特定されたケースもあった。厚生労働省通知及びみきの路と共同で作成したクラスター対策マニュアルに従ってゾーニングや消毒・健康管理の強化などの対応に当たった。

### 3 摂津市立児童発達支援センター

#### I 児童発達支援センター「つくし園」

##### (1) 概況

つくし園は、児童発達支援センターとして、発達に課題のある子どもたちを対象に障がい特性へのきめ細かい配慮を行う『障害児相談支援』、保育所・幼稚園・学校等を訪問し、発達に課題のある乳幼児、児童に対し集団生活をより豊かに過ごすことができる様に専門的な支援や教職員に対するアドバイス、その他の必要な支援を行う『保育所等訪問支援』、そして通園を中心とした『児童発達支援』の三つで児童発達支援センターの指定要件であるすべての事業を行っている。

障がい種別を問わない就学前の乳幼児の心身共に豊かな発達を育む環境を整えることを主眼に置いた療育、保育を行った。また、個々様々な発達の課題を有している子どもの保護者に対して子育て支援・家族支援を行いともに子育てをする関係作りを大切に取り組んだ。

進路指導に関しては全利用児を対象にクラス面談及び個別面談を行い、就学を迎える5名については、市教育委員会に園の進路指導に関する取組みの理解を得て、対象校区の小学校及び支援学校の保護者見学の機会を設け、対象児の体験入学等を実施し進路決定に繋げた。

障害児相談支援については、発達に課題のある児童を対象に児童期における障がい特性へのきめ細かい配慮を行い実施しているが、年々増加する相談件数への対応として、保護者に不安を与えず、今まで通りのサービスの提供を継続出来る事を主眼に置き、摂津市子育て支援課との協議により、当センターのみの利用児に対し「セルフプラン」の導入となった。今後も保護者ニーズを探りながら見直し、検討を行う必要を感じている。

##### (2) 療育の状況

発達に課題がある児童について個々の特性や発達段階に応じて集団や個別で療育を行った。

- ① クラス編成は単独通園2クラスと親子通園1クラスとし、年齢、発達状況、親子関係、家庭環境を考慮した個別支援計画を立て療育を行った。親子クラスでは単独クラスへの移行の見通しを親子ともに持ちやすいよう、母子分離の機会を設けると共に、登園日数を変更する等し、スムーズな移行につなげるなど状況に応じたきめ細かな取組みを行った。
- ② 食事、排泄、着脱など基本的な生活習慣の自立を目的とし、個々に応じた援助を行い習得に向けて取り組んだ。その中で生活リズムが整う様に援助した。
- ③ あそびや様々な行事を通して人との関係性を育むとともに、その中で自己を表現し発揮できるよう配慮を行い、心豊かに過ごすことが出来るよう環境を整える工夫を行った。また全員で同じ遊びに取り組む設定保育では、個々の発達状況、興味関心により課

題別にグループ編成をするなどし、ひとり一人が集団の中で自分の力を発揮できる様な環境作りに力を注いだ。

保育士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等、多職種で連携を図り日々の保育を行った。

④ 行事

(人)

実施日	行事名	場 所	参加者 (人)	内 容
4月3日	保育説明会	園 内	園 児 20 保護者等 23	保護者に通園における諸規則、注意事項を説明した。
5月10日	日曜参観	〃	中止	
7月6日	七夕まつり	〃	園 児 23 保護者等 9	季節の行事として経験の拡大を図った。
7月22日	夕涼み会	〃	中止	
10月2日 6日	遠 足 (親子クラス)	大枝公園	園 児 4 保護者等 5 園 児 3 保護者等 3	親子通園クラスの在籍園児の集団としての活動で、親子で楽しんだ。
10月14日	遠 足	摂津市立 三島公園	園 児 7	単独通園クラスの在籍園児の集団としての活動を楽しみ、経験拡大を図った。
10月15日	(単独クラス)	万博自然 文化園	園 児 9	
10月31日	運動会	鳥飼 体育館	園 児 25 保護者等 59	保育の運動面の取り組みについて保護者と成長や課題を確認する機会とした。
12月11日	クリスマス会	園 内	園 児 27 保護者等参加なし	友達と一緒にクリスマス会を楽しんだ。
2月16日 ～19日	生活発表会	〃	保護者観覧なし ビデオ撮影し DVD 販売	一年の総まとめとして子どもたちの発達を DVD を通して保護者と確認し成長の糧とした。
3月10日	お楽しみ会 (単独クラス)	大仙緑地 公園	園 児 15	1年の締めくくりとして、公園に出かけ、園でお弁当を食べ園児が楽しむ機会とした。
3月19日	卒園式 修了式	園内	園 児 13 保護者等 25	卒退園・一年の修了を祝った。

行事については・通常の保育形態で実施する行事 ・季節の行事 ・保護者と協力して実施する行事 ・家族参加の行事に分類されているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策により、行事の中止、内容の変更等、その時の状況に応じて実施した。

### ⑤ 家庭との連携

園と家庭との連携のため、行事の参加はもとより以下の取組みを実施し、園児の発達に共通の認識を持ち、わが子の理解を深め、家庭での育児力を育むことに取り組んだ

項目	実施内容
家庭訪問	園児の生活基盤である家庭の状況を把握するため入園後、感染症の状況を踏まえ保護者確認のもと実施した。
個別面談	各担当者が保護者との信頼関係を築きながら、生活習慣と発達の援助について園と家庭での様子に関する情報交換を行い、課題に取り組んだ。進路については、保護者の気持ちも大切にし、ともに悩み考え、わが子の理解にもつながるよう援助し、保護者自身で決定出来る様寄り添った。(年2回、その他随時)
クラス面談	各クラスの状況に応じた取組みや課題設定についての説明を行った。保護者がクラスの中で他の保護者の意見を聞き、また自分の悩みを話すなどの機会とし、ともに子育てをする仲間としての関係作りにもつなげた。
3者面談	進路の決定や家族の障がい受容に向けて、必要に応じて両親が参加しやすい日曜日・行事後に面談を実施した。(随時)
合同親子保育	全園児、全保護者を対象とした取組みを行う。2クラス合同で行うことによりクラス間の交流、全体としてのまとまりをねらいとして実施していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施せず。
単独クラス親子保育	単独通園クラスを対象とし、保護者も保育に参加してもらう中で、児の成長をともに喜んだり、家庭との様子の違いや家庭での困りごとについての情報交換を行い、園と家庭の役割・協力体制を整えることを目的として実施している。 ※令和2年度は感染症の状況を見ながら年2回の実施となった。
保育参観	参観は、給食参観・日曜参観・生活発表会の事前練習参観等を年度当初計画していたが、計画通りに実施することは難しかった。保護者が園での子どもの様子を把握する目的での参観は、保護者の希望により随時受け入れを行った。
連絡ノート	日々の園と家庭での子どもの生活状況(食事・睡眠・健康状態)などの伝達的手段として活用した。また、保護者の育児に対する考え・姿勢・悩みを聞き、思いを共有したうえで、園での取組みを伝える等子育てに対するアドバイスを行い、保護者の育児力を育むと共に育児負担の軽減に努めた。(毎日)
園だより	近況紹介、新入園児の紹介、月間予定、給食だより(献立表)連絡事項などの内容で保護者、関係機関に配布した。(毎月)

\* 母親教室

子どもの発達に関する学習や講習による技術習得をすることにより、保護者の負担を軽減し、子育てに精神的なゆとりを持つことが大切と考え、年5回児童発達支援センター職員である訓練士、心理士等より例年は保護者対象に講話を行っていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策により実施せず。

⑥ 進路指導

就学については、摂津市教育支援課主事による摂津市における就学指導の説明、大阪府立摂津支援学校小学部主事に学校説明会の依頼を行い、当園にて年長児対象に「就学説明会」を実施した。

また、年長児の校区にあたる小学校に当園の就学指導の取り組みや、見学・体験入学の主旨、園児の状況等を伝え、理解を深めた。そのうえで見学・体験入学実施を依頼し、職員が付き添った。そのことを通し保護者が進路先について十分な理解と検討を行った上で、進路決定をし、教育支援会議を迎えることが出来る様援助した。

就園（幼稚園、保育所）については、職員による進路説明会を行い、幼稚園・保育所に対する理解、進路選択の手順についての説明を行った。そのうえで、保護者自身による見学・相談に繋げ、随時個人面談等で相談に応じた。

(保護者懇談会)

(人)

実施日	内 容	保護者
6月5日	就学児進路説明会	4
6月12日	幼保進路説明会（年中）	8
6月26日	幼保進路説明会（年少）	10

※6月中旬入園の年長児には個別で説明

(小学校・支援学校小学部)

(人)

実施日	対象機関	内 容	対象児
4月28日	摂津市立鳥飼北小学校	取組説明	2
5月1日	摂津市立味生小学校	取組説明	1
6月2日	摂津市立鳥飼西小学校	取組説明	1
7月5日	摂津市 教育相談	相談	4
7月7日	吹田市立第2小学校	見学会	1
7月16日	摂津市立鳥飼西小学校	見学会	2
7月22日	摂津市立鳥飼北小学校	見学会	2

8月3日	大阪府立摂津支援学校	見学会	4
8月5日	大阪府立吹田支援学校	見学会	1
8月25日	摂津市立味生小学校	見学・体験	1
8月27日	摂津市立烏飼西小学校	体験	1
9月14日	大阪府立摂津支援学校	教育相談	3
9月17日	摂津市立味生小学校	体験入学	1
10月12日	吹田市立第2小学校	体験入学	1
10月16日	摂津市立烏飼北小学校	体験入学	1
11月6日	大阪府立茨木支援学校	体験入学	1
11月12日	摂津市 教育支援会議	検討会議	4
2月4日	大阪府立吹田支援学校	体験入学	1

(幼稚園・保育所)

(人)

実施日	対象機関	内 容	対象児
1月22日	私立 勝久寺保育園	一日保育	1
2月1日	摂津市立べふこども園	一日保育	1

### (3) 健康管理

園児の健康状態の把握には常に家庭と連絡をとり、必要に応じて医療機関・保健所との連携に努め、助言、指導を受け療育に活かしてきた。特に感染症対策には細心の注意を払い、手洗い・手指消毒等の対応をした。また、体調の変化には細心の注意を払った。日々の取組みとしては、戸外遊びなどを多く取り入れ、身体づくりを行うとともに歯磨き指導や給食時における食事指導による健康づくりを実施してきた。

5月より園庭に日除けネット、ミストシャワー等を設置し、快適な園生活を過ごすことが出来るよう努めた。また、健康診断は次のとおり実施した。

#### ①内科医健診

健 診 日	7月30日、12月9日
-------	-------------

#### ②その他健診、検査

健 診 日	内 容
7月30日	耳鼻科健診
9月9日	歯科健診
11月12日	尿 検 査

※新型コロナウイルス感染症の影響により、健診日程が例年より遅くなっている。

(4) 給食調理

園児の心身の健全な発育、発達、健康の維持増進、体力の向上を図るため質・量ともに適切な食事を提供することに努め、園児及び園生活の現況に即した給食提供を行った。給食業務をウオクニ株式会社に業務委託を行い、大量調理マニュアルに沿った衛生管理の充実にも努め、月1回の同社の調理員・営業と施設側の施設長・保育士・児童指導員・栄養士で給食会議を実施し、喫食状況の把握、園児の状況に配慮し調理形態を工夫した給食提供をした。また可能な範囲で食物アレルギーのある子への除去食の提供を行った。

家庭との連携のため月1回給食だより・献立表の配布を行った。

(5) 通園児の状況

① 通園状況(延べ人数)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
親子クラス園児数	91	101	125	120	97	75	115	109	103	104	98	106	1,244
単独クラス園児数	193	221	249	273	230	307	343	360	330	303	309	334	3,452
園児数計	284	322	374	393	327	382	458	469	433	407	407	440	4,696

② 年齢別

(人)

年齢	3才	4才	5才	6才	合計
男	2	7	7	4	20
女	0	3	5	1	9
計	2	10	12	5	29

③ 障がいの状況(原疾患・合併症・診断名)

(人)

区分	発達遅滞	染色体異常	自閉症 スペクトラム障害
男	20	2	8
女	9	0	2
計	29	2	10

④ 療育手帳の所持

(人)

区分	A	B1	B2	所持無	合計
男	6	1	6	7	20
女	3	1	2	3	9
計	9	2	8	10	29

⑤ 身障手帳の所持 (人)

区分	1級	2級	合計
男	2	0	2
女	0	0	0
計	0	0	0

⑥ 進路の状況 (人)

区分	保育所	幼稚園	支援学校	居住地小学校	合計
男	1	3	3	1	9
女	0	4	1	0	5
計	1	7	4	1	13

(6) 障害児相談支援

児童発達支援センターの地域支援の一つに位置づけられ、子どもたちの抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援を行った。

① 利用状況 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体障がい	0	0	4	2	1	4	6	5	6	4	6	4	42
重症心身障がい	5	11	5	5	9	7	7	6	5	10	3	5	78
精神障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
知的障がい	17	8	14	32	30	28	38	24	40	51	43	44	369
発達障がい	9	6	17	21	21	13	21	19	23	21	15	18	204
その他	5	21	27	7	11	11	20	19	21	18	11	8	179
合計	36	46	67	67	72	63	92	73	95	105	79	79	874

② 支援内容 (人)

福祉サービスの利用等に関する支援	156	保育・教育に関する支援	218
障害や病状に関する支援	16	社会参加や余暇活動に関する支援	2
健康・医療に関する支援	80	家計、経済に関する支援	7
不安の解消・情緒安定に関する支援	8	権利擁護に関する相談	8
家族関係・人間関係に関する支援	26	その他	414

延べ人数 735人 相談件数 2343件

(7) 保育所等訪問支援

専門的な知識を持った訪問員が保育所等を訪問し、集団になじめない等課題のある子どもたちに対して、より集団生活が豊かになるよう、対象児への直接的な支援、職員、環境などへの間接的な支援等、必要な支援を行った。

実施状況 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
公立保育所	1	0	3	2	4	2	4	3	4	3	5	4	35
私立保育所	5	6	8	8	8	8	9	11	8	10	10	9	100
公立幼稚園	0	0	6	7	6	7	7	9	7	8	8	8	73
私立幼稚園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	6	17	17	18	17	20	23	19	21	23	21	208

(8) くまさん親子教室事業

家庭児童相談課からの紹介により、発達や養育上に課題のある1歳から3歳児とその保護者を対象に、親子教室を実施した。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発令中は、集団での教室を実施せず、個別対応として1組の親子で実施した。

6月より参加人数を制限して集団での親子教室を開始したが、感染を懸念し参加を控える保護者もいた。

実施状況 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月曜日	2	4	14	13	12	11	9	13	12	8	18	19	135
火曜日	1	5	12	12	9	18	19	11	17	18	16	21	159
水曜日	0	4	0	0	0	6	8	22	13	16	16	21	106
木曜日	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
金曜日	1	7	8	15	12	11	16	13	14	20	18	12	147
計	5	22	34	40	33	46	52	59	56	62	68	73	550

※新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令中は木曜日も実施していた。

(9) 日中一時支援事業

日中一時支援事業（市町村事業）として、主につくし園通園児を対象に、長期休暇中の余暇支援、保護者の就労やレスパイト支援を目的とし、家族支援の一環として日中活動の場として受入れを行った。

利用実績

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	19	16	29	26	22	22	26	25	26	21	22	40	294

(10) 各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間連携をとるため、次のとおり会議を開催した。

- |                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 施設連絡会議（毎月2回） | 2. 行事会議（随時）           |
| 3. ケース会議（随時）    | 4. 家庭児童相談課との会議（判定会議等） |
| 5. 処遇会議（毎日）     | 6. 給食会議（月1回）          |
| 7. 総括会議（年度末）    |                       |

(11) 災害防止対策

通園児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を周知し、火災を想定した避難訓練・消火訓練（総合訓練を含む）を月に1回実施した。

(人)

実施日	想定災害	訓練内容	参加者			
			園児	保護者等	職員	合計
4月17日	火災	避難訓練	14	5	15	34
5月15日	〃	〃	10	2	15	27
6月22日	〃	〃	16	4	12	32
7月10日	地震	〃	16	5	13	34
8月28日	火災	〃	19	5	12	36
9月11日	〃	〃	19	5	15	39
10月19日	〃	〃	14	3	12	29
11月30日	〃	〃	20	5	14	39
12月18日	〃	〃	17	5	12	34
1月15日	火災・通報・消火	総合消防訓練	21	5	18	44
2月24日	火災	避難訓練	19	0	11	30
3月24日	〃	〃	18	0	13	31

(13) 職員研修

日常の療育活動に必要な知識、技術を習得し、職員の資質を高めるため研修会等へ参加した。

研修日	研修名	開催場	主催	職種
6月～2月	北摂杉の子会 こども発達支援センターwill 令和2年度研修講座	オンライン	大阪府	職員全員
6月13日	指定障がい児支援事業者等 集団指導	書面開催	大阪府	施設長
7月25日	施設管理者・利用者向けコロ ナウイルス発生・感染拡大防 止研修会	摂津市立 コミュニティ プラザ	一般社団法 人摂津市施 設管理公社	施設長
7月	大阪府医療ケア児等支援者養 成講座	リモート	大阪府	保育士
7月28日	安全運転管理者講習	摂津市	大阪府	管理者
10月	大阪府サービス管理責任者基 礎研修	リモート	大阪府	保育士
12月	相談支援専門員現任研究	リモート	大阪府	相談支援 専門員
2月	言葉の発達	リモート	通園分科会	保育士

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、中止となる研修会が多く参加者が例年に比べ少数となった。

(14) 施設実習生の受け入れ

児童発達支援センターの地域における社会資源として、外部からの実習生を積極的に受け入れた。

実習期間	学校名等	内容	人数
7月6日～17日	日本メディカル福祉専門学校	保育実習	1
8月17日～24日	聖和短期大学	保育実習	1
8月25日～28日	聖和短期大学	保育実習	1
8月31日～9月7日	聖和短期大学	保育実習	1
9月8日～15日	聖和短期大学	保育実習	1
2月1日～15日	京都光華女子大学	保育実習	1
2月15日～2月22日	聖和短期大学	保育実習	2

2月24日～3月3日	聖和短期大学	保育実習	2
------------	--------	------	---

※実習生の受け入れにあたっては、2週間前からの検温の実施、当日の健康チェック表の提出を求めた。

#### (15) 他機関との連携

##### ① 子育て支援ネットワーク推進会議

例年行われていた各協議会・各行事は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の取り組みより実施されず。

##### ② 摂津市児童発達支援事業所連絡会

市内の事業所が集まり連絡会を開催する。情報交換、スキルアップを図り、全体的な支援体制を向上させるというねらいで実施しているが、令和2年度は、5月、3月ともにアンケート実施等の書面開催とする。

##### ③ その他

###### \* 摂津市要保護児童対策地域協議会

当園入園までの経緯及び、入園後の家庭環境や親子関係の様子から、虐待等好ましくない家族関係や家庭環境が見受けられた場合は、要保護児童対策地域協議会と連携を図り、情報交換、役割分担をして子どものすこやかな育成及び家族支援に努めた。

※対象児の就学にあたり、関係機関でのケース会議実施

###### \* 卒園後のフォロー体制

卒園児が就学した小学校へ担当職員が出向き、児がより安心して学校生活を送ることが出来る様、職員が作成した資料をもとに引継ぎを行った。また、必要に応じて継続的に、就学先や卒園児保護者からの相談に応じた。就園児が入所・入園した保育所・幼稚園へも担当職員が出向き、就学児同様引継ぎを行いよりスムーズに移行できるように努めた。

###### \* ボランティア

保育実習後、保育ボランティアを希望する学生3名の受け入れを行った、地域ボランティアについては行事の開催がなかったため受け入れはなかった。

###### \* 職業体験

令和2年度はなし。

#### (16) 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う措置

令和2年2月頃より日本国内での感染者拡大を受け、下記対応を行った。

- ・園児、職員、来園者の手洗い・うがい・消毒・体温等体調チェックの実施  
(体調がすぐれない・37.5度以上の発熱の場合は利用を控えていただいた)

- ・活動前後の手洗いうがいの励行・マスク着用の徹底（未就学児は除く）
- ・密を避ける環境構成及び室内の換気・保育内容の工夫  
（密にならない。飛沫が飛ばない。玩具を共有しないなど）
- ・行事の縮小・内容の変更及び中止
- ・玩具・設備（共有部分）等の消毒。使用後の部屋の消毒
- ・感染防止のための環境設定（アクリル板の設置・空気清浄機の設置等）
- ・保護者・職員への感染を防ぐための対応・行動等の協力依頼
- ・相談員による家庭訪問・事業所訪問の自粛（電話・手紙の活用）
- ・家族に感染の可能性がある自宅待機となった場合は、職員及び当園利用児も自宅待機の協力を要請
- ・他機関との情報共有

◆令和2年4月7日に発令された緊急事態宣言中の取り組み

摂津市子育て支援課と協議のもと、保護者全員に登園自粛の協力を要請。その後、家庭環境、児の状況等を考慮し、親子クラスは週2回、単独クラスは週3回の分散登園を実施する。解除後は、親子クラス隔週週3日登園、単独クラスは週4日登園を実施し、段階を経て通常登園とする。その後の緊急事態宣言発令期間中については、感染拡大防止対策を徹底したうえで、従来通りの事業を実施した。1年を通して、通園バス内が密になるため、自力登園、自力降園の協力依頼を行った。

◆今後に向けて

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策への対応は長期化すると考えられる。

今後も、摂津市子育て支援課等関係機関と連携を図りながら「児童発達支援センター」として、市民に安心・安全なサービスを提供するためには、感染を防止するための環境を整えることはもとより、職員の意識の継続が必要となる。その為、職員の精神面へのケアも必要かつ重要と考えられる。

## II 障害児通所支援施設「めばえ園」

### (1) 概況

めばえ園は、児童福祉法による通学利用の発達に課題のある児に対する支援を行う身近な発達支援の場として、就学児を対象に「放課後等デイサービス事業」を実施した。併設しているつくし園内の相談支援及び行政機関（出産育児課、子育て支援課、家庭児童相談課）で受けられたのち、障害児相談支援事業所で作成される障害児支援利用計画書に基づき、理学療法・作業療法・言語療法の訓練領域について、個々の課題に沿う訓練を保護者との連携のもと実施した。心身その他状況に応じて、生活に関する相談及び助言等も行った。

摂津市出産育児課、家庭児童相談課、教育支援課からの依頼、観察・評価ケースが 73 件、保育所の巡回指導からのケースが 23 件あった。各関係機関からの協力依頼に基づき連携・協力を努めた。

めばえ園では今後も摂津市の子どものために関係機関との連携を密にとり、社会や利用者のニーズに応じていけるよう更なるサービスの向上を図っていきたい。

### (2) サービスの状況

#### ① 理学療法

個別訓練を発達段階に応じて実施した。個別訓練では感覚、運動レベルの機能障害に対する訓練指導のみならず、利用児を取り巻く生活環境や家族関係等への指導助言も、丁寧に行い、訓練とともに成果をあげた。

#### ② 作業療法

知覚、認知、概念の学習や日常生活動作指導、手指機能訓練を主として行った。利用児を取り巻く生活環境や生活場面での状況に応じて、指導助言も丁寧に行い、訓練指導によって行動の安定、集中力の強化、コミュニケーションの拡大などにつながり、場面適応が改善されてきた。グループ訓練と個別訓練を、発達段階に応じて実施した。

#### ③ 言語療法

口腔器官、聴覚器官だけの障害でなく、それらを制御する中枢器官に問題のある場合が多い中で早期治療が行われる事によって、伝達、思考、記憶への発達面の援助を行ってきた。

#### ④ グループ訓練

健診後のフォロー教室として、出産育児課からの紹介等により、週 1 回の親子教室を

実施し、子の困り感へのアプローチだけでなく、こだわり等により育てにくい子を持つ、子育てに悩む保護者に対して、保育士・言語聴覚士・作業療法士があらゆる側面から支援を行った。

⑤ 送迎サービス

利用児の利便性向上のためニーズに応じて送迎サービスを実施した。

⑥ 障害児通所給付費支給申請の援助

障害児通所給付費の支給期間終了を迎え、継続が必要な利用児の支給申請について、相談支援専門員と連携を図り援助を行った。

⑦ 家庭との連携

訓練には親子で来園し同室で訓練の様子を見てもらうことにより、児への対応と発達段階を理解できるよう努めた。また、学習し成長していく過程を担当職員と共感し、児への理解を深め受容できるように、助言すると共に、揺れ動く保護者の気持ちに寄り添ってきた。

⑧ 関係機関との連携

利用児の所属小学校の担任教諭等が訓練の見学に来園し情報共有を行う、こども教育課の保育所巡回指導で公認心理師と作業療法士が同行して、助言や意見交換を行うなどした。また、必要に応じて「教育支援会議」に出席し、情報提供及び助言を行った。

(保育所 巡回指導)

実施日	対象機関
9月14日	認定こども園 せつつ遊育園
9月17日	認定こども園 みなみせんりおか遊育園
9月18日	私立 鳥飼さつき園
9月24日	私立 藤森保育園
10月20日	摂津市立鳥飼保育所
10月22日	子育て総合支援センター
10月26日	摂津市立べふこども園
10月27日	私立 ひかりにこにこ保育園
10月29日	認定こども園 つるのひまわり園
11月5日	私立 正雀ひかり園
11月30日	私立 勝久寺保育園
10月27日	私立 ひかりにこにこ保育園

(引継ぎ・来園相談・見学)

学校

実施日	対象機関
4月1日・9月23日 11月16日・11月24日	摂津市立三宅柳田小学校
4月1日・6月26日 7月31日・9月14日 9月16日・10月17日 11月10日・11月19日 12月8日・12月15日 2月5日・2月15日	摂津市立鳥飼西小学校
4月6日・10月28日 11月6日・12月2日 12月18日	摂津市立別府小学校
4月2日	摂津市立味舌小学校
4月6日・2月26日	摂津市立千里丘小学校
4月24日・10月16日 12月9日	摂津市立摂津小学校
4月7日・3月1日	摂津市立鳥飼東小学校
4月1日・12月26日	摂津市立鳥飼北小学校
4月7日・6月19日 10月8日・12月1日	摂津市立味生小学校

(幼稚園)

実施日	対象機関
7月30日	かおり幼稚園
3月18日	藤森保育園

(他機関への講師派遣)

実施日	派遣先
1月29日	摂津市学童保育室指導員研修

(3) 健康管理

利用児の健康状態の把握には常に保護者と連絡調整を図り、必要に応じて医療機関・担当保健師との連携に努め助言・指導を受け訓練に活かしてきた、特に感染症対策には細心の注意を払い、保護者・利用児において手洗い、うがい、手指消毒の励行、検温等体調管理に努めた。

## (4) 通園児の状況

(人)

月別	開所日数	就学児	未就学児	合 計
4	21	50	48	119
5	18	55	69	142
6	22	63	105	190
7	21	51	123	195
8	20	51	122	193
9	20	51	143	214
10	22	57	157	236
11	19	46	130	195
12	20	40	137	197
1	19	44	143	206
2	18	40	154	212
3	23	44	159	226
合計	243	592	1,490	2,325

## (5) サービス別の利用状況

(人)

	サービス別							観察	つくし 個別 指導	延人数
	理学療法		作業療法		言語療法		グループ 訓練			
	放	児	放	児	放	児				
4	8	16	21	23	21	4	5	7	4	109
	24		44		25					
5	7	23	31	33	17	7	6	4	9	137
	30		64		24					
6	8	27	32	51	23	6	21	5	15	188
	35		83		29					
7	8	28	24	55	19	6	34	6	17	197
	36		79		25					
8	5	33	30	55	16	9	25	2	14	189
	38		85		25					
9	7	30	26	67	18	11	35	10	20	224
	37		93		29					
10	5	31	36	74	16	14	38	10	16	240
	36		110		30					

11	7	24	25	67	14	13	26	5	21	202
	31		92		27					
12	6	27	23	73	15	15	23	7	22	211
	33		96		30					
1	7	25	23	75	14	14	23	6	6	191
	32		98		28					
2	8	29	21	77	11	15	31	11	18	221
	37		98		26					
3	9	33	20	80	15	14	32	7	23	233
	42		100		29					
計	85	326	312	730	199	128	299	80	185	2344
	411		1042		327					

(6) 各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

1. 施設連絡会議（毎月2回）
2. めばえ意見書会議（年2回）
3. 家庭児童相談課との会議（判定会議、随時）
4. 行事会議（随時）
5. 処遇会議（毎日）

(7) 災害防止対策（つくし園と同様）

利用児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を周知し、火災を想定した避難訓練・消火訓練（総合訓練を含む）を月に1回実施した。

(8) 職員研修

つくし園事業報告に記載

(9) 新型コロナウイルス感染症の対応及び感染拡大防止に向けての対策

令和2年2月頃より日本国内での感染者拡大を受け、下記対応を行った。

- ・利用児、職員、来園者の手洗い・うがい・消毒・体温等体調チェックの実施  
（体調がすぐれない・37.5度以上の発熱の場合利用を控えていただいた。）
- ・訓練実施前後の手洗いうがいの励行・マスク着用の徹底（訓練中の利用児は除く）
- ・密を避ける環境構成及び室内の換気・訓練内容の工夫  
（密にならない。飛沫が飛ばない。玩具を共有しないなど）
- ・教材・玩具・設備（共有部分）等の消毒。使用後の部屋の消毒
- ・感染防止のための環境設定（アクリル板の設置・空気清浄機の設置等）
- ・保護者・職員への感染を防ぐための対応・行動等の協力依頼

- ・家族に感染の可能性があり自宅待機となった場合は、職員及び当園利用児も自宅待機の協力を要請
- ・他機関との情報共有

◆令和2年3月から実施された学校休校中の措置

- ・摂津市子育て支援課との協議の基、感染防止対策を行ったうえで従来通りの事業実施とした。

◆所属校で感染者が出た場合

- ・新型コロナウイルスの感染により、所属校、所属園が休校、休園となった場合は、当園の利用も控えていただくよう周知、徹底した。(家族等が感染の可能性がある場合も同様の措置)

## 4 多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」

### (1) 概況

ひびきはばたき園では、総合支援法に基づく多機能型事業所として、生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）の各事業を実施した。

生活介護では、自閉症スペクトラムや行動障害のある方に対して構造化を中心とした手法で落ち着いて過ごせる環境を整えた。その結果、活動や行動に見通しを持ち作業に集中できるようになり利用者の活動の幅も広がった。近隣の企業から作業を請負い、生産活動の機会を提供し工賃支給へと繋がった。

就労移行支援では、自立訓練にて2年間の訓練を経て就労移行支援サービスを利用した4名の利用者が、就労（一般就労1名、A型事業所3名）に結びついた。また、就職後は安定しながら継続雇用ができるよう一定期間の就労定着支援に努めた。

就労継続支援 B 型では、「小型家電リサイクル事業（希少金属の再資源化）」と施設外就労「トレイ選別リサイクル事業」、その他請負作業と新たにシール張り作業を導入する事で充実した取り組みができた。また、利用者の就労意欲の向上と地域生活での潤いにも繋がった。

自立訓練では、カリキュラム内容の見直しを行い、利用者のスキルに沿った幅広いカリキュラムを提供した。また、サービス終了後の進路先について、一人ひとりの適性とニーズを確認しながら面談を重ね次の進路に繋げた。その他、新たな利用者確保の為に、支援学校や関係機関への情報提供を強化した。

今年度は、利用者が快適に園生活を送る事ができるよう空調設備や照明器具の交換、トイレや扉の修繕等を行いながら、利用者が安全に安心して登園できるよう危険個所を把握し環境整備も行った。今後も定期的な点検と計画的な改修・修繕が円滑に進むよう努めたい。また、新型コロナウイルス感染拡大により、例年の事業や行事の縮小及び中止が余儀なくされ、少なからず授産作業にも影響がでた。感染対策として手洗いうがいの徹底と各部屋への換気器具の設置。3密を避ける取り組みとして、時間差での給食の提供と活動の分散化、利用者へ見て分かりやすいルールの掲示等に取り組んだ。

ひびきはばたき園では、職員の意識改革と今後の事業及びサービスの展開の礎を築くことを目指し、職員の資質向上・意識の統一を図りながら、福祉を支える人材育成に努め、利用者が求める良質なサービス提供ができるように取り組んだ。

### (2) 支援の状況

#### ■生活介護

生活介護では、利用者一人ひとりに応じた、専門的知識・技術に基づく「日中活動の場」を提供し、安全性の確保や園内支援の充実に重点を置いた取り組みを実施した。また、昨年度に引き続き構造化支援に取り組み、利用者が活動できる場を提供した。その他、近隣の企業よりシール張り作業を頂き、生産活動の機会の提供を通して達成感や社会の一員としてのやりがい・いきがいをを感じる活動に取り組み、工賃として還元した。

### ① 個別支援計画

多様化した個別のニーズに応じるため、個別支援計画の作成、個別アプローチ、個別に応じたサービスを提供した。また、緊急時の対応については、状況に応じて適切な支援を行った。

### ② 支援者づくり

障がい者の『自立』には、支援者は必要不可欠である。一人でも多くの理解者や、サポートを得るために積極的にボランティアを受け入れ、制度サービスの活用に努めてきた。

また、移動支援事業「てくてく」を開始して以降、家族へ制度やサービスの利用についての働きかけや、積極的なガイドヘルパーの利用を促してきたが、今年度は、新型コロナウイルスの影響で事業を実施する事ができなかった。

### ③ 日中活動の充実（療育活動・作業訓練・生活支援）

個別支援を基本とし、個別プログラムの充実や安全を確保するために活動内容・障がい程度を基準に、いきいき・わくわく・うきうき・のびのび・かがやきの5クラスに編成し、個別プログラムに合わせた活動を行った。

#### （ア）いきいきクラス

理学療法士の指導による、機能回復・維持訓練やリラクゼーション活動・リラックスタイム・気候に応じた外気浴など、ゆとりを持ったプログラムを設定し基本的な生活習慣の獲得・向上を目指した。

#### （イ）わくわくクラス

集団を意識しながら個人に応じた作業を取り入れ、和紙作業・生産活動（シール張り作業）・制作活動・レクリエーションなどの活動を行った。

#### （ウ）うきうきクラス

安心して見通しが持てるよう構造化を個別に行い、課題に応じた作業を取り入れ運動・散歩・レクリエーションなどの活動を行った。

#### （エ）のびのびクラス

作業手順や自立を目的とした構造化を行い、和紙作業・生産活動（シール張り作業）・制作活動・レクリエーションなどの集団を意識できる活動を行った。

#### （オ）かがやきクラス

利用者の健康維持管理に努め、理学療法士による機能回復・維持訓練を実施した。音楽療法・調理訓練・作業療法・集団体操など多彩なプログラムを提供するなか、個々に応じた活動を行った。

#### ④ 生活支援

利用者一人ひとりのニーズに応えるために個別支援計画（6ヶ月ごとに見直し）をもとに個別へのアプローチや個々に応じたサービス支援を行った。緊急時の対応としても、必要に応じた適切な支援を行った。

#### ⑤ 生産活動（収入状況）

（単位：円）

内 容	年間収入	事業所
シール張り作業	16,390	(株)フレッシュファーム
収 入 合 計	16,390	

#### ⑥ 工賃支給状況

（単位：円）

工 賃 支 給 総 額	利用者数	工 賃 / 年
15,122	9	1,680

#### ■就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

就労移行支援では、カリキュラム（ビジネスマナー、学習、面接、履歴書等）を充実させ実践的な訓練（面接会等）と、仕事のイメージをより実感し理解し経験する為の職場実習の充実に努めた。また、就労継続のためのきめ細かな職場定着支援にも取り組んだ。その他、支援学校や関係機関への啓発活動と、ハローワーク、茨木・摂津障害者就業・生活支援センター、せつつくすのき、関係機関との連携も強化した。

就労継続支援B型では、障がい者の働く場と位置づけ、安定したサービスの提供を基本に、「障がい者の自立へ向けての支援」に取り組んできた。また、積極的な働きかけにより、官公需要や地域の企業からの作業受注と新たにシール張り作業の導入を行った。

また、就労移行支援の作業資源を作業プログラムに取り込む事により、作業指導の活性化を図った。

その他、市からの業務委託事業（食品トレイ選別作業）に8名の利用者と職員で従事し、施設外就労として、就労継続支援B型利用者の訓練資源の一つとしても活用することができた。

環境業務課・障害福祉課の協力の下、小型家電リサイクル事業のパソコン解体に取り組む事で、作業内容の幅が広がり充実した作業の提供ができた。

自立訓練（生活訓練）では、就職を目指す準備期間として生活能力の向上、社会人としての基礎を学べるよう取り組んできた。前期（1年目）、後期（2年目）の総合的なカリキュラムや課題を定めることで、利用者の能力に沿いながら訓練を行うことができた。

また、将来に向けた目標が確立できるよう情報提供や面談を繰り返し、家族や相談支援事業所等と連携しながら円滑に進路に繋がるよう努めた。その他、選ばれる事業所を目指し、支援学校や関係機関への啓発活動も強化した。

#### ① 作業訓練と還元金の配分

個別支援計画（就労移行支援は3ヶ月ごと、就労継続支援B型は6ヶ月ごとに見直し）に沿った支援を実施した。

就労移行支援と就労継続支援B型では、陶芸や軽作業（電気部品の加工作業、小型家電解体作業）と食品トレイ選別作業に取り組んだ。そして、還元金支給取扱い要綱の基に工賃を配分した。

#### ② 生活支援プログラムの充実

定期的なプログラムとしては、利用者の個別ニーズに即した内容（自治会・情報提供・運動）を実施した。

#### ③ 主体性、自己決定の尊重・支援とエンパワメントを重視した支援

生活支援プログラムの中で自らの考えや思いを表現・実現できるように支援した。

#### ④ 家庭生活、地域生活支援

個々の事情により生活全般の支援が必要な利用者については、家庭訪問や障害福祉課、相談支援事業所と連携しながら生活支援を行った。

前年度に引き続き、家族からの支援が望めない諸事情のある利用者について「一人暮らし・自立」への全般的な地域生活支援を実施した。また、障害者福祉課、生活支援課、相談支援事業所、その他関係機関と連携を強化しつつ、当園が軸となって支援を推し進めた。その他、健康で安心・安全な生活が送れるよう通院支援も実施した。

#### ⑤ ボランティアや実習生の受け入れ

社会福祉活動への一般の方の関心や参加が増加している中、ボランティア受け入れの理念統一とシステムの整備、啓発を続けてきた。実習生の受け入れについても教育への協力と捉え、積極的に受け入れてきた。

#### ⑥ その他

施設支援計画や機関紙など、利用者への情報提供や案内文等には平易な表現やひらがなやルビ、写真を使用、また苦情解決システムの充実に努めた。

#### ⑦ 作業指導

#### ■就労移行支援、就労継続B型

##### ・ 陶芸

市主催事業の記念品などの大量注文を中心に、干支の置物製作・販売も並行して行い、幅広くさまざまな陶器の受注製作を行った。

・軽作業

株式会社ダイキンサンライズ摂津の電気部品のコード巻き作業を中心に、株式会社フレッシュファームからのシール張り作業を受注した。また、不定期作業として障害福祉課より「障害者週間」の啓発のカイロの袋詰め作業を行った。この他2ヶ月に1回、建設会社からのダイレクトメール袋詰め作業にも取り組み、利用者一人ひとりが役割と目標をもって取り組むことができた。

・食品トレー選別作業

摂津市内から集められた食品トレーの分別・選別を行い、リサイクルとゴミに選別した。施設外就労を行う事で、利用者の経験拡大と工賃向上に繋がり、リサイクルへの意識も向上した。

・小型家電リサイクル作業

主にパソコンを解体し、鉄・アルミ・ステンレスそして、金・銅・パラジウム等の希少金属（レアメタル）を海外流出させず国内循環し、社会に貢献できる事業である。作業の拡大と工賃の向上にも繋がった。

■自立訓練（生活訓練）

就労移行支援、就労継続支援 B 型より作業提供を受け、利用者一人ひとりの適性の把握や意欲の向上が図れた。

⑧ 就労活動

■就労移行支援

(人)

実施日	名 称	場 所	参加者
6月15日	求職活動	ハローワーク茨木	2
7月3日	求職活動	ハローワーク茨木	3
9月7日 ～18日	企業・事業所実習	株式会社 JFR クリエ	1
10月5日 ～16日	企業・事業所実習	アートバンライン 株式会社	2
10月7日	求職活動	ハローワーク茨木	3
10月19日 ～23日	企業・事業所実習	株式会社 フレッシュファーム	1
10月28日	求職活動	ハローワーク茨木	1
11月13日	求職活動	ハローワーク茨木	1
11月16日 ～27日	企業・事業所実習	AsFine アビリティ	1
11月20日	求職活動	ハローワーク茨木	1
11月24日 ～12月4日	企業・事業所実習	AsFine アビリティ	1

11月25日	求職活動	ハローワーク茨木	2
12月15日	求職活動	ハローワーク茨木	2
12月25日	企業・事業所実習	フラワーショップ林	3
1月7日	求職活動	ハローワーク茨木	3
1月20日	求職活動	ハローワーク茨木	2
1月25日	求職活動	ハローワーク茨木	1
2月2日	求職活動	ハローワーク茨木	1
2月25日 ～19日	企業・事業所実習	ほまれの家茨木店	1
3月9日 ～12日	企業・事業所実習	株式会社 エスプールプラス	1
3月23日	求職活動	ハローワーク茨木	2

⑨ 就職状況

■就労移行支援

(人)

事業所名	職 種	所在地	人数
株式会社フレッシュファーム	袋詰め、梱包	摂津市	1
就労継続支援 A 型事業所 AsFine アビリティィ	軽作業	摂津市	2
就労継続支援 A 型事業所 ほまれの家茨木店	軽作業	茨木市	1

⑩ 生産活動（収入状況）

■就労移行

(単位：円)

内 容	年間収入	事業所
陶芸作業	630,850	
その他	100,000	カネカ労働組合大阪支部
収 入 合 計	730,850	

■就労継続 B 型支援

(単位：円)

内 容	年間収入	事業所
園芸作業	2,700	
清掃作業	184,800	(株)セラ
空缶・古紙回収	38,033	
電気部品の加工作業	378,512	(株)ダイキンサンライズ摂津
建設会社DM作業	112,930	エッグ住まいる工房
箱折り作業	8,275	リバティィ
シール張り作業	50,161	(株)フレッシュファーム

マスク作業	51,200	
カイロ袋詰め等請負作業	67,500	官公庁等
小型家電解体作業	981,497	摂津市役所、一般持ち込み等
食品トレイ選別作業	8,998,540	環境業務課
その他	11	
収入合計	10,874,159	

⑪工賃支給状況

■就労移行支援

(単位：円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	33,572	7	4,796
5	37,084	8	4,636
6	38,921	8	4,865
7	38,988	8	4,874
8	35,000	8	4,375
9	39,813	8	4,977
10	38,410	8	4,801
11	35,416	8	4,427
12	32,876	7	14,130
一時金	66,032		
1	27,105	7	3,872
2	24,375	5	4,875
3	22,446	5	9,178
一時金	23,443		

工賃支給総額	平均工賃／ヶ月
493,481	5,672

■就労継続B型支援

・食品トレイ選別作業

(単位：円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	634,030	8	79,254
5	498,420	8	62,303
6	861,940	8	107,743
7	820,760	8	102,595
8	715,680	8	89,460
9	773,900	8	96,738

10	848,450	8	106,056
11	693,670	8	86,709
12	792,360	8	99,045
1	744,080	8	93,010
2	705,030	8	88,129
3	910,220	8	1,137,775

・軽作業

(単位：円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	91,668	10	91,667
5	88,610	10	8,861
6	87,613	10	8,761
7	88,692	10	8,869
8	80,500	10	8,050
9	77,000	9	8,556
10	82,500	9	9,167
11	82,500	9	9,167
12	84,875	9	45,264
一時金	322,500		
1	81,579	9	9,064
2	81,388	9	9,043
3	81,739	9	64,199
一時金	496,052		

工賃支給総額	平均工賃 / ヶ月
10,825,756	51,798

(3) 行事

行事指導は、生活指導の一環として位置付け、種々の生活場面を導入しレクリエーション的要素・学習的要素を含む取り組みにより、知識・経験の拡大を図る目的として実施予定だったが、今年度は、多くの行事が新型コロナウイルスの影響で自粛もしくは中止となった。

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
12月22日	ジャンボ クリスマス大会	各サービス作業室	利用者 生介 23 かがやき 3 移行 6 B型 9 自立 3	園で作成した動画上映と、各サービスでクリスマスにちなんだ催しを行う。 <u>新型コロナウイルスの影響で縮小</u>

※その他、摂津宥和会運動会・風船バレーボール大会・つくっ展と輝けコンサート等については、新型コロナウイルスの影響で全て中止となった。

■生活介護

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
8月28日	夏祭り	作業室C、A、食堂	利用者 生介 26 かがやき 4	コロナウイルス感染予防に努め、小グループに分かれ、ヨーヨーすくいや当て物等を企画。自粛生活の利用者に楽しんでもらえるよう計画。

※その他、懇親会、園外活動・スプリングフェスタ等については、新型コロナウイルスの影響で全て中止となった。

■生活介護かがやき

① 食事会

※新型コロナウイルスの影響で中止となった。

② 社会見学

※新型コロナウイルスの影響で中止となった。

■就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
11月4日	体験学習	寝屋川市野外活動センター	利用者 移行 7 B型 16 自立 3	コロナウイルス感染予防に努めながら、屋外での企画。自粛や制限がある生活の中で、ストレス発散と軽減、今後の活力へ繋げる。

(4) 家庭との連携

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

定例的な個別面談や家族会などにとどまらず、必要に応じて個別面談や電話による情報交換などを行った。

項目	実施日	内 容
個人面談 家庭訪問	随 時	個別支援計画（生活介護・就労継続支援B型は年2回・就労移行支援、自立訓練（生活訓練）は年4回以上）の説明と同意を得た。 個別のケースについて必要に応じて個別に面談や家庭訪問を実施することで本人や家族の声を聞き、受容し、信頼関係を築き、問題解決を図った。また、新型コロナウイルス感染予防として電話での面談を実施した。
給食試食会		新型コロナウイルスの影響で中止となった。
家族会		新型コロナウイルスの影響で中止となった。
機関紙	毎月1日 発行	当月の予定や利用者の全般的な様子を掲載し、毎月1日に発行した。
月課表	毎月1日 発行	当月の予定を配布した。
連絡帳	毎 日	毎日の連絡帳を通じて、利用者の健康状態・家庭での様子・検温・排泄時間・意見等家族とのコミュニケーションを図った。 (生活介護のみ)
電話連絡	随 時	最も迅速かつ正確な連絡方法であり、即応しなければならない場合に実施した。
その他	適 時	家族の都合により、9時から17時の間で一時預かりをする。登園時間外は、自力での登降園となる。

① ショートステイ先との連携

家庭の事情等によりショートステイや日中一時を希望される利用者に対しての支援として、ショートステイ先に、園での様子を引き継いだ。また、各事業所とも必要に応じて引継ぎや調整、送迎等の支援を適宜行った。

② 医療との連携

個別に応じて、家族の依頼に基づき円滑な通院ができるように、情報提供や病院との連携を行った。

③ 市との連携

市施策や園運営・支援状況、市内障がい者福祉情勢等の情報交換を行い、利用者ニーズに十分応えられるよう、随時連絡体制を確保した。

#### ④ その他

入所前より詳細な生活内容や発達歴、各種サービスの利用を把握するために支援学校より引継ぎや助言を求めた。また、希望者については円滑な入所ができるよう、事前に進路選択等事業を利用し実習や受け入れを行った。

#### (5) 法人内他施設との連携

##### ・就労支援機関事業所連絡会

摂津市障害者職業能力開発センター せっつくすのきと茨木・摂津障害者就業・生活支援センターの三施設で求人や就労活動の情報提供を密に行い円滑な支援ができるように連携を図った。

##### ・みきの路との交流

みきの路の運動会や当園のクリスマス会、「つくっ展と輝けコンサート」等の催しにお互いの利用者が参加し交流していたが、今年度は、新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。

##### ・グループホーム「ヒマワリ」入所

ヒマワリ、相談支援事業所ウイング、ご家族とスムーズに入所できるように連携を図った。

#### (6) 健康管理

今年度も感染症予防のため、インフルエンザ、病原性大腸菌O-157、ノロウィルスの感染拡大を防止するため手洗いを励行し、健康状態の把握に努め、家庭と園の連携で健康管理を図ると共に、今年度は、新型コロナウイルス感染予防として、検温・手指消毒・うがい・3密防止を徹底した。

看護師の来園時（月2回）、薬品の整理や使用方法、健康面・衛生面での助言や指導を受けたり、「保健だより」を発行して、より利用者が快適で安全な園生活を送ることができるよう努めた。

##### ① 環境整備

○冷暖房調節・換気、温湿度計の管理

○薬箱・体温計の整理・管理（作業室C）      ○医薬品管理

○業者による園舎内清掃、消毒      ○手指などのアルコール消毒

○マスク      ○非接触体温計      ○ペーパーホルダー      ○換気器具設置

##### ② 健康の維持・管理

○健康カード作成（個人データの整理）

○検温（体調不良時には随時）      ○血圧測定

○理学療法士による運動プログラム      ○配慮食・きざみ食の提供

○インフルエンザ対策（手洗い・うがい励行 検温・視診）

○健康チェックカード（毎登園時提出）

③ 服薬管理

- 医療調査票作成（通院状況・服薬状況・担当医調査）
- 服薬管理（活動時間内に服薬する利用者の服薬管理）

④ 作成資料

- (ア) 保健だより 年 3 回発行
- (イ) 通院状況表
- (ウ) 服薬調査表
- (エ) 健康チェックカード

⑤ 健康診断

- (ア) 内科医健診

実施日	7月 30日	11月 9日
-----	--------	--------

- (イ) 血圧・脈拍測定

実施日	毎月 1 回
-----	--------

\* 健診日に欠席の場合、看護師の来園日に随時測定

- (ウ) その他健診、検査

歯科健診

実施日	新型コロナウイルスの影響で中止
-----	-----------------

検尿

実施日	7月 14日	11月 12日
-----	--------	---------

(7) 給食の提供

給食については、利用者の健康の維持・増進、生活習慣病の予防や家庭での食生活の意識向上を目指して実施している。栄養素の摂取不足によって生じるエネルギー及び栄養素欠乏症の予防に留まらず、過剰摂取による健康障害の予防や生活習慣病の一次予防も重要である。給食業務をウオクニ株式会社に委託して17年目となり、月1回定期的に同社の営業・栄養士・調理員・施設側の支援員・栄養士で会議を行い密に連携をとった。利用者にとってより安全で楽しく、美味しく食事をしてもらおう環境作りを考えるよう努めた。サービス向上委員会において、今年も給食のサービス向上のためのアンケートを実施し、その声を反映した給食提供をした。食事は、あくまで個人的なものであることから個人が必要とする栄養量を満たした食事摂取基準を算定し、美味しく、衛生的な食事であることにも努めた。また、個別の栄養アセスメントにも対応できるようにした。給食における「食生活の指針」をたて、次のとおり実施した。

1. 給食会議の充実
2. 「給食だより（献立表）」の発刊（月1回）
3. 残食検査の実施
4. 食事提供状態の充実
5. 衛生管理の充実

(8) 利用者の状況

①通所状況 (在籍者数は月初の人数)

■生活介護

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	29	29	29	29	29	29	29	30	30	30	30	30	
支援日数 (日)	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243
延利用数 (人)	383	265	530	512	449	489	530	477	485	464	444	593	5,621

■生活介護(かがやき)

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	10	9	9	9	8	9	9	10	10	10	10	9	
支援日数 (日)	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243
延利用数 (人)	37	26	53	57	55	53	57	63	50	46	43	49	589

■就労移行支援

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	7	8	8	8	8	8	8	8	7	7	5	5	
支援日数 (日)	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243
延利用数 (人)	85	72	172	166	141	160	170	136	134	104	89	104	1,533

■就労継続支援B型

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	

支援日数 (日)	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243
延利用数 (人)	275	235	372	354	309	313	357	308	331	297	290	373	3,814

■自立訓練（生活訓練） (人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
支援日数 (日)	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243
延利用数 (人)	39	43	74	70	55	58	74	62	57	54	63	77	726

②年齢別（令和3年3月31日現在）

■生活介護 (人)

年齢 性別	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	3	5	3	11	22
女	0	1	0	8	9
計	3	6	3	19	31

■生活介護かがやき (人)

年齢 性別	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70～79才	80～89才	計
男	1	2	0	1	0	1	5
女	0	1	0	1	2	0	4
計	1	3	0	2	2	1	9

■就労移行支援 (人)

年齢 性別	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	0	0	1	1	2
女	0	1	1	0	2
計	0	1	2	1	4

■就労継続支援 B 型 (人)

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	1	3	1	5	10
女	0	0	0	7	7
計	1	3	1	12	17

■自立訓練（生活訓練） (人)

年齢 性別	18～19 才	20～24 才	25～29 才	30 才～	計
男	2	0	0	0	2
女	1	0	0	0	1
計	3	0	0	0	3

③手帳の所持

(ア)療育手帳 (令和3年3月31日現在)

■生活介護 (人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	21	0	0	21
女	9	0	0	9
計	30	0	0	30

■就労移行支援 (人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	0	2	0	2
女	0	2	0	2
計	0	4	0	4

■就労継続支援 B 型 (人)

判定 性別	A	B 1	B 2	計
男	5	5	0	10
女	1	5	1	7
計	6	10	1	17

■自立訓練（生活訓練） (人)

判定 性別	A	B1	B2	計
男	1	1	0	2
女	0	1	0	1
計	1	2	0	3

(イ) 身体障害者手帳 (令和3年3月31日現在)

■生活介護 (人)

級 性別	1級	2級	3級	4級	計
男	1	3	0	1	5
女	1	1	0	1	3
計	2	4	0	2	8

■生活介護かがやき (人)

級 性別	1級	2級	3級	4級	計
男	3	2	0	0	5
女	1	3	0	0	4
計	4	5	0	0	9

(ウ) 障害支援区分 (令和3年3月31日現在)

■生活介護 (人)

区分 性別	区分6	区分5	区分4	区分3	計
男	6	8	6	2	22
女	1	3	5	0	9
計	7	11	11	2	31

■生活介護かがやき (人)

区分 性別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	計
男	0	1	4	0	0	5
女	0	1	0	0	3	4
計	0	2	4	0	3	9

(9) 各種会議

利用者の処遇向上と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 施設連絡会議 (月2回)      | 2. 運動会実行委員会 (随時)    |
| 3. 職員会議 (随時)         | 4. ケース会議 (随時)       |
| 5. 給食会議 (毎月1回)       | 6. サービス向上委員会 (毎月1回) |
| 7. 虐待防止・権利擁護委員会 (随時) | 8. リーダー会議 (随時)      |

(10) 災害防止対策

防災用設備の自主点検実施のほか、災害時の任務分担、家族の緊急連絡網の職員への周知徹底を図ると共に、毎月の火災を想定した避難訓練を実施した。尚、新型コロナウイルス感染予防対策として、火災報知器は鳴らさず時間差で各サービスで実施した。また、ふれあいの里消防総合訓練(通報、避難、消火訓練)を年2回(6月、11月)予定していたが、新型コロナウイルスの影響で中止となった。

実施日	想定災害	訓練内容	参加者				
			利用者				職員
			生活介護	就労移行	就労B型	自立支援	
4月14日	火災	避難訓練	22	5	8	2	20
5月19日	〃	〃	13	3	8	2	18
6月10日	〃	〃	24	7	8	3	20
7月20日	〃	〃	23	8	8	3	24
8月7日	〃	〃	24	8	9	3	19
9月14日	〃	〃	19	7	7	3	16
10月13日	〃	〃	21	6	9	4	19
11月25日	〃	〃	24	5	10	3	17
12月3日	〃	〃	23	6	8	3	19
1月15日	震災	〃	22	7	8	2	20
2月17日	火災	〃	25	4	9	3	20
3月11日	震災	〃	22	4	8	4	20

(11) 職員研修・会議

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会・会議に参加した。

① 機関研修

研修日	研修名	場所	主催	職種
9月2日	令和2年度強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修)	ふれあいの里 (YouTube配信)	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員

10月14日、15日、19日、20日	令和2年度第2回就業支援基礎研修	クラブウ本社ビル ※14日のみダイキン サンライズ摂津	独立行政法人高齢・ 障害・求職者雇用 支援機構	支援員
11月9日	安全運転管理者講習	摂津市文化ホール くすのきホール	大阪府公安委員会	施設長
11月13日	令和2年度強度行動障がい 支援者養成研修(実践研修)	ふれあいの里 (YouTube 配信)	大阪府障がい者自立相 談支援センター	支援員
11月18日	令和2年度強度行動障がい 支援者養成研修(実践研修)	ふれあいの里 (YouTube 配信)	大阪府立砂川厚生福祉 センター	支援員
12月9日	令和2年度強度行動障がい 支援者養成研修(実践研修)	大阪府教育会館 たかつガーデン	大阪府立砂川厚生福祉 センター	支援員
12月15日	令和2年度強度行動障がい 支援者養成研修(実践研修)	大阪府教育会館 たかつガーデン	大阪府立砂川厚生福祉 センター	支援員
12月17日	令和2年度大阪府サービス 管理責任者等更新研修	大阪府社会福祉会館	一般財団法人大阪府地 域福祉推進財団	支援員
2月16日 25日	令和2年度北摂版ジョブ ライフサポーター養成講座	豊中市立文化芸術セ ンター	茨木・摂津障害者就業。 生活支援センター	支援員
3月16日	2020年度新任職員研修	大阪府社会福祉会館	一般社団法人大阪知的 障害者福祉協会	支援員

## ② 専門研修

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の予防という点で対面での研修は全て見送られた。  
北摂ブロック栄養士研修会のみ「案件」がある場合メールでのやり取りをした。

## ③ 施設内研修

研修日	研修名	講師	職種
9月11日	令和2年度衛生研修	(株)イーズニック	施設長他

### (12) その他

#### ① ボランティア受け入れ状況

担当者を設け、利用者の対人関係の拡大、体験学習、福祉の啓発を目的に受け入れをし、施設の社会化の一環とする。受け入れに当たっては、より職員間の意識統一を図るため、ボランティア受入れマニュアルをもとに受け入れ、定期的に会議を設ける予定でしたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で受け入れできなかった。

#### ② 実習生の受け入れ状況

支援学校からの実習は、教育の一環として作業学習や、施設生活を体験することで、進路選択を行うため広く受け入れた。また、新規事業を予定している民間の事業所より職員の現場実習の受け入れを行った。

※今年度は新型コロナウイルス感染予防の徹底を行い受入れを実施した。

(実習生)

実習期間	学校、施設名	受け入れ先	人数
7月13日～17日	摂津支援学校	就労移行	1
7月29日～8月4日	摂津支援学校	生活介護	1
8月5日～7日	茨木支援学校	生活介護	1
9月17日～18日	社会福祉法人桃林会	就労継続支援B型 生活介護	2
9月28日～30日	茨木支援学校	生活介護	1
10月12日～16日	とりかい支援学校	就労移行	1
10月19日～23日	自立支援センター ぽぽんがぽん（茨木市）	生活介護	1
1月18日	茨木支援学校	生活介護	1
3月23日	茨木支援学校（2年生）	生活介護	1
3月26日	茨木支援学校（2年生）	就労継続支援B型	1

(職場体験実習)

毎年、摂津市立第三中学校より学生の受入れを行っていますが、今年度は新型コロナウイルスの影響により受入れは行わなかった。

### ③ アフターケア

障がい者の自立と豊かな地域生活への実現に向けて、本人の希望や家族の状況に応じて進路選択や決定の支援を行った。また、進路先へのスムーズな移行のために調整や引継ぎなどの支援も行った。

#### (13) 日中一時支援事業

ご家族のレスパイトを目的に、障がい児・者を長期休暇時や放課後、他事業所利用者の平日休暇日に日中活動の場として一時的に受入れを予定していたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で受け入れが難しかった。受入れにあたり、本体施設利用者の状況や施設面（ハード面）などの問題により、受入れが制限されることがあり、また、利用者の障がい程度に合わせた5クラスの編成配置を行ったため、日中一時支援を受ける居室がないため児童の受入れは難しい状況。

#### (14) 移動支援事業（ガイドヘルパー派遣事業）

##### ① 概況

一人で外出することが困難な障がいのある方の外出時に、付き添いや介助等のサービスを行うガイドヘルパーを派遣する予定だったが、新型コロナウイルス感染予防のため、今年度は見合わせた。

\* 利用契約者の状況（令和3年3月31日現在）

		人 数	合 計
障害種別	知的障害	43	47
	身体障害	4	
	精神障害	0	
身体介護あり		27	47
身体介護なし		20	

## ② 職員研修

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で受講できなかった。

## ③ 各種会議

安定した移動支援サービスの提供と職員間の連携を図るため、定期的に会議を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で移動支援事業が実施できない為、会議等も行っていない。

## （15）新型コロナウイルス感染症の発生に伴う措置

大阪府や摂津市などの関係省庁の発表やガイドライン等に基づき、感染拡大防止対策の徹底を行った。新型コロナウイルス感染症の脅威から利用者の健康と安全安心な生活を守る取り組みに努めながら、法人の新型コロナウイルス対応マニュアルの徹底、ひびきはばたき園のルールやBCP（事業復興計画）、緊急連絡先リスト等の整備も行った。また、施設内で登園前と降園後にドアノブや手すり、机等を次亜塩素酸ナトリウムで消毒し、登園時に検温・手洗いうがいの徹底、体温チェックシートの提出や、利用者に視覚的にわかりやすい掲示物やパネルを用意し安全安心に活動に取り組めるように努めた。その他、各作業場には空気清浄機や換気器具等の設置等や、食堂での座席配置や人数制限、大人数での活動や行事の見直し等、利用者の受入れには細心の注意を払い対策を講じた。昨年に引き続き、施設内の感染拡大防止を目的に就労の利用者が布製のマスクの作製と販売を行った。

## 5 摂津市立身体障害者・老人福祉センター

### (1) 概況

施設スローガンとして『共に歩もう！笑顔で・元気で・協働で』を掲げ、施設運営において職員と利用者間での結びつきを持つことで、より身近に利用してもらえる雰囲気の良い施設づくりに力を注いだ。また、利用者にとっての「健康づくり・生きがいづくり・友だちづくり」に寄与し、教養講座に加え、介護予防やフレイル（虚弱）予防を中心としながら、事業展開した。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、年度当初には“緊急事態宣言が発令”されるなどし、前年度末より引き続いて約3か月間の休館を余儀なくされた。6月より開館したが、3密（密閉・密集・密接）回避を基本とする感染対策や消毒など利用者が少しでも安心・安全に利用していただけるよう職員一丸となって尽力した。実施予定であったバスツアーや福祉センターまつり等については残念ながら中止せざるを得ない状況であったが、日頃より利用いただいている活動団体や主催事業等の活動成果発表及び活動紹介の場として、“作品展・活動紹介(月間)”を実施し延べ400人を超える方々に観覧していただいた。そして、今年度についても、つどい場運営ボランティアや手芸ボランティアの皆さんに、密回避の観点から活動人数を減らしたり活動日についても複数設ける等しながら施設運営の一翼を担っていただいた。また、時代のニーズに合わせ「施設のホームページの充実」にも取り組みつつ、利用者に関覧方法を教えるなどして周知した。そして、これまで同様に、同好会や自主グループへの支援にも力を注いだ。

### (2) 利用について

#### ① 利用対象

- ・市内在住の身体に障がいのある方
- ・市内在住の60歳以上の方

#### ② 利用手続

- ・利用当日センター窓口で「利用証」を提示する。
- ・団体の場合は、使用日1ヵ月前から受け付ける。

#### ③ 開館時間

- ・8時45分から17時15分まで

#### ④ 休館日

- ・日曜日
- ・国民の祝日
- ・12月29日～1月5日まで

(3) 年間主要行事の実施状況

① 年間主催事業

(ア) 主催事業

(人)

講座名	実施期間	受講者数
男性のための 筋トレ&ストレッチ教室	6月20日～3月6日(16回) 基本毎月第1・3土曜日 9:10～10:30	13
男性のための体操教室	6月11日～3月25日(17回) 基本毎月第2・4木曜日 10:30～11:30	8
健康体操(新規)	6月11日～3月25日(18回) 基本毎月第2・4木曜日 12:45～13:45	10
カラオケ教室	7月15日～3月17日(17回) ①毎月第1・3水曜日 10:00～12:00	19
	7月15日～3月17日(17回) ②毎月第1・3水曜日 12:45～14:45	13
つどい場&カラオケ教室	7月15日～3月31日(35回) 毎週水曜日 10:00～12:00	394 206 (ボランティア)
エアロバイク講習会	6月18日から3月8日(5回) 不定期 10:00～11:00	26

※つどい場&カラオケ教室について、4月～6月の期間は登録者に対して、電話での健康状態確認や“新型コロナウイルス関連”“摂津みんな体操四部作”などのチラシ配布を行った。

(イ) 受託事業

●いきいきカレッジ

『人生はこれからだ！持ち続けよう！チャレンジ精神』を年間テーマとして高齢者の方々が知識と教養を深める場、生きがいつくりや仲間づくりを行う場として開講した。

(人)

講座名	実施期間	受講者数
いきいきカレッジ(老人大学)	9月4日～12月18日(15回) 毎週金曜日 10:30～15:00	25

## 1 一般教養科目

	月 日	講 演 名	講 師 名
①	9月11日	『心も脳も、 チョット気晴らしも大切』	レクリエーション・コーディネーター 郡 真由美 氏
②	9月18日	『コロナ禍で気をつけよう フレイル(虚弱)予防～私の生きる道～』	YMCA 総合研究所 重信 直人 氏
③	10月2日	『コロナ禍と認知症について』	大阪人間科学大学 准教授 杉原 久仁子 氏
④	10月16日	『知って安心、得する薬の話』	コーナン薬局 管理薬剤師 田中 邦人 氏 塩見 光範 氏
⑤	10月30日	『感染症予防』	国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 感染管理認定看護師 木村 仁 氏
⑥	11月6日	『身近にできる防災対策 ～地震・風水害・感染症～』	日本防災士会 田中 実 氏
⑦	11月20日	『新しいお金の時代がやってきた！ キャッシュレスと私たちの暮らしの変化』	ファイナンシャル・プランナー 世羅 弥生 氏
⑧	12月4日	『金融犯罪未然防止』	株式会社りそな銀行 大阪公務部 折戸 一敬 氏

※12月11日に「交通安全の話」講師：摂津警察署 田中警部補、摂津市役所 道路交通課 織田氏 の予定であったが、12月3日より大阪府が独自指標・基準（大阪モデル）により、非常事態を示す“赤信号点灯”となり、摂津警察署より講師を派遣できないとのことで中止とした。

※終日専門科目 9月25日・10月9日・10月23日・11月27日 実施

## 2 専門科目

科 目	内 容
陶芸を楽しもう科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土もみ・小鉢作り・円筒花入れ作り</li> <li>・角花入れ作り・長方皿作り（布目、波紋）</li> <li>・市松模様皿作り（赤白交互に積み上げる）</li> <li>・鶺鴒手皿作り</li> </ul>

笑顔で体操しよう科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の体の仕組み（筋肉、骨、関節の役割など）</li> <li>・正しい筋力トレーニング・フレイル予防について・転倒予防</li> <li>・バランストレーニング・呼吸について</li> <li>・高齢者の老化に伴う体の変化・認知症予防（脳トレ）</li> <li>・ロコモティブシンドロームについて</li> <li>・エアロビクスで体を動かす</li> <li>・雑学（水分補給、骨密度アップ、緊急手当 RISE 法、健康的な食事）</li> </ul>
パソコンをもっと知ろう科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入力の基礎・表の作成と編集（ワード）</li> <li>・文章編集、書式設定（ワード）・電子メールの利用</li> <li>・スマホ、デジカメからの写真の取込み・年賀状作成（ワード）</li> <li>・ネットショップ（ヨドバシカメラ）利用・Google アカウント</li> <li>・インターネットプログラムをダウンロード、インストール（四川省）</li> <li>・カレンダー作り・写真、音楽を使ったスライドムービー作成</li> </ul>

※12月18日にふれあいの里にて閉講式を行い、式典・学習成果発表を行った。

### 3 いきいきカレッジ（老人大学）申込・受講者数

・申込者数 (人)

専門科目	男性	女性	合計
陶芸を楽しもう科	2	11	13
笑顔で体操しよう科	2	8	10
パソコンをもっと知ろう科	3	3	6
合 計	7	22	29

・受講者数 (人)

専門科目	人数
陶芸を楽しもう科	11
笑顔で体操しよう科	10
パソコンをもっと知ろう科	4
合 計	25

## (ウ) 短期主催事業

(人)

講座名	実施期間	受講者数
初心者のための パソコン講座	【第1回】 6月9日～8月11日(全10回) 10:10～12:10(2時間)	5
	【第2回】 1月12日～3月23日(全10回) 10:10～12:10(2時間)	5

## (エ) 単発事業

(人)

実施期間	事業名	場所	参加者	内容
1月18日 ～ 3月19日	作品展・活動 紹介(月間)	福祉センター 1階 相談室・廊下	延べ402 ※準備 片付 含む	活動団体の活動紹介及び成果発表の場として、運動系は活動風景の写真等、文化系は各々の作品を展示していただいた。展示スペースを広く設け、観覧人数についても密回避や消毒等についても徹底した。

※“第20回福祉センターまつり”“第36回ふれあいの里バスツアー”“多世代交流会”を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止措置として中止とした。

## ② 同好会活動等

(人)

	同好会名	活動日	時間	会員数
1	陶芸同好会	① 毎週火・木曜日	10:00～15:00	20
		② 毎週水・土曜日	10:00～15:00	25
2	え～やろ仲良会	① 第2・4月曜日	10:00～12:00	19
		② 第1・3月曜日	10:00～12:00	20
3	書道悠墨会	第2・4火曜日	10:00～12:00	15
4	革工芸同好会	月2回 木曜日	12:00～15:00	4

5	健康体操ABC	A 第1・3木曜日	14:10 ~ 15:10	15
		B 第2・4木曜日	14:10 ~ 15:10	17
		C 第1・3木曜日	11:15 ~ 12:15 13:00 ~ 14:00	18
6	パソコン同好会	第2・4水曜日	10:00 ~ 12:00	8
7	いきいきふれあいの会	毎週 火曜日	13:30 ~ 15:00	13
8	太極拳同好会	毎週 金又は土曜日	13:00 ~ 15:00	10
9	パソコン撫子会	月2回 火・木曜日	10:00 ~ 12:00	8
10	パソコン44会	月2回 火曜日	13:00~ 15:00	7

③ その他の利用団体

(人)

	団 体 名	活 動 日	時 間	会員数等
1	46期パソコン科OB	月2回 水曜日	10:30 ~ 12:30	10
2	パソコンあじさい	月2回 木曜日	10:00 ~ 12:00	8
3	48期パソコン科OB	月2回 火曜日	9:30 ~ 11:30	8
4	つどい場運営ボランティア	毎週水曜日	9:30 ~ 12:30	16
5	手芸ボランティア	月1回 月曜日	13:00 ~ 16:00	17

(4)利用者の月別状況

(人)

月	主催事業	つどい場		いきいきカレッジ	同好会	健康体操ABC	個人・団体	介護予防	手芸ボランティア	エアロバイク講習会	エアロバイク利用	合計
		参加者	ボランティア									
4												
5												
6	20	0	0	0	354	44	48	0	0	4	176	646
7	75	17	12	0	383	0	58	0	17	7	173	742
8	59	11	14	0	290	0	64	0	18	0	127	583

9	79	28	30	99	279	81	66	0	18	7	133	820
10	81	26	24	115	393	0	63	0	16	0	166	884
11	87	45	25	66	259	79	93	0	23	3	173	853
12	81	36	23	71	257	0	49	0	18	0	127	662
1	61	25	25	0	224	0	266	0	12	0	81	694
2	74	25	27	0	197	0	145	0	12	0	86	566
3	65	38	26	0	375	0	188	0	30	6	145	873
合計	682	251	206	351	3,011	204	1,040	0	164	27	1,387	7,323

(5) 年齢別利用証交付状況

(人)

年齢 性別	45~ 49才	60~ 64才	65~ 69才	70~ 74才	75~ 79才	80~ 84才	85~ 89才	90~ 94才	合計
	男	1	0	4	17	22	18	7	1
女	0	4	19	73	67	19	4	1	187
合計	1	4	23	90	89	37	11	2	257

(6) 地区別利用証交付状況

(人)

地区 性別	鳥飼北	鳥飼南	味生	味舌	千里丘	合計
	男	27	19	11	5	8
女	101	62	11	3	10	187
合計	128	81	22	8	18	257

## (7) 身体障害者手帳等級別利用状況

(人)

級 性別	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
男	1	0	1	3	1	1	7
女	1	1	4	1	0	1	8
合計	2	1	5	4	1	2	15

## (8) 各種会議

1. 施設連絡会議 (月2回)
2. 法人事実行委員会 (随時)
3. ふれあいの里内防災担当者会議 (随時)
4. 職員会議 (随時)

## (9) 災害防止対策

施設の安全性を確保するため、防災設備の点検・災害時の任務分担及び緊急連絡網の確認等を行った。

(人)

実施日	参加者	実施内容
11月27日	25	通報・避難訓練をいきいきカレッジ受講者・講師・職員で行った。
3月11日	25	震災訓練 ・大型地震発生時の身を守る行動について ・非常用持ち出し袋について

## (10) 職員研修

利用者へのサービス向上や職員のスキルアップのために研修会に参加した。

(人)

研修日	研修名	出席者
7月1日	法人内研修 (オンライン研修) 「会計担当者研修」	2
1月27日	法人内研修 (オンライン研修) 「法人就業規則・給与規則等勉強会」	1
2月22日	摂津市高齢介護課主催「通いの場」事業人材育成フォローアップ講座 「コロナ禍におけるレクリエーションのポイント・手法を学ぶ」	2
3月24日	施設内研修 「ソーシャルメディア勉強会～YouTube動画アップロード～」	全職員

(1 1) (仮称)鳥飼地域交流センターに整備に向けた提案

第1児童センターと協力して市に「(仮称)鳥飼地域交流センター」整備に向けた提案を行った。詳細は第1児童センターで記載。

(1 2) 新型コロナウイルス感染拡大防止の措置

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、玄関に非接触型温度計・消毒機を設置し館内要所に手指消毒液を配置した。そして、利用者に広く“3密(密閉・密集・密接)回避を促すとともに、館内の空気を留めさせないように換気扇やサーキュレーター等を有効に活用し換気を徹底した。また、乾燥する冬季には加湿器を館内各所で作動させ対策を行った。

摂津市からの指示で、令和2年3月9日より5月末までの期間休館となった。

## 6 摂津市障害者職業能力開発センター「せつつくすのき」

### (1) 概況

障がい者の就労を可能にするために、知識・技能及び職業人に必要な挨拶やマナー等の習得を図り、職場定着できるように支援を行った。身体障がい者及び内部障がい者対象のOA実務科と知的障がい者対象の実務作業科の2科で、それぞれ定員10名の1年間の職業訓練を実施した。OA実務科では令和元年10月生の引継生5名と、令和2年4月入校生OA実務科5名、実務作業科10名の20名でスタートした。8月に引継生1名が退校し、9月は19名となったが、新たに10月生が5名入校し、一時期は20名となったが12月に実務作業科2名が退校し、以後は18名で訓練を行った。

家庭との連携では、保護者も交えての参観及び懇談、公共職業安定所を招いての就職相談を実施し、本人の希望や能力・適性等を考慮したうえで、企業の絞り込みを行いながら応募した。

訓練生を確保するために訓練内容の質、就職率等当センターの実績について、近隣の公共職業安定所、就業・生活支援センター、府立高等学校等に出向いて行きPRの強化を図った。

また大阪府委託訓練事業である短期訓練「作業習得科」は、8月開講の1名の受入れを行ったが、就職には至らなかった。

### (2) 職業能力開発訓練指導の状況

OA実務科においては、簿記、ワープロ、表計算、ホームページ、電子会計を中心に訓練を実施した。また企業から求められるプレゼンテーション等個々に応じた選択科目を導入するなど、修了後、即戦力として働ける知識、技術を身につけるため各訓練生に合わせた柔軟な訓練カリキュラムを実施した。

実務作業科については、施設内の木工訓練、軽作業以外に、コミュニケーションを円滑に行うためにグループワークやソーシャルスキルトレーニングを取り入れた訓練を実施した。また、清掃技術向上のために、敷地内にある福祉センターの清掃を行い、清掃技術だけではなくコミュニケーション能力向上を図った。

両科合同で行う訓練では、事務補助就労を目指した郵便物の仕分け、封入、ピッキング、パソコンのデータ入力等を行うだけではなく、対人関係を良好に築くためのスマイルエクササイズや手話等も実施した。

① 行 事

職業訓練指導・社会生活指導を目的として、次のとおり行事を実施した。

実施日	行事名	場 所	参加者	内 容
4月6日	入校手続き会	せつつくすのき	実務作業科 10名 OA実務科 10名	9:30 実務作業科 10名 11:10 OA実務科 10名
4月7日 ～9日	分散登校	〃	〃	訓練生を3グループに分けオリエンテーション
4月10日 ～5月17日	臨時休校	〃	〃	府の指示により自宅待機
5月18日 ～29日	分散登校	〃	〃	訓練生を2グループに分け、時間短縮して訓練を開始
6月5日	就職相談	〃	OA実務科 5名	管轄職業安定所の担当官との個別就職相談
6月8日 ～23日	保護者等懇談	〃	実務作業科 10名	保護者の参観、懇談
8月3日 17日	企業見学会	(株)JR西日本 あいウィル	実務作業科 10名 OA実務科 5名	就職活動として障害者雇用事業所を見学する
8月4日		(株)ニッセイニュー クリエーション		
8月20日		(株)スミセイ ハーモニー		
8月24日		(株)ダイキンサ ンライズ摂津		
8月12日	製品パッキング、オフィスアシスタント、データ入力競技発表会	せつつくすのき	修了生 2名 実務作業科 10名 OA実務科 10名	アビリンピックおおさか大会中止により、施設内で訓練の成果披露
9月29日	修了式	〃	実務作業科 9名 OA実務科 9名	修了生 OA実務科 50期生 4名
10月7日	入校式	〃	実務作業科 10名 OA実務科 10名	入校生 OA実務科 52期生 5名
10月22日 23日	就職相談	〃	実務作業科 10名 OA実務科 5名 保護者 10名	各管轄職業安定所の担当官との個別就職相談

2月24日	企業見学会	(株)スミセイ ハーモニー	O A実務科 5名	就職活動として障害者雇用事業所を見学する
2月26日		(株)ダイキンサ ンライズ摂津		
3月26日	修了式	せつつくすのき	実務作業科 8名 O A実務科 8名	修了生 実務作業科 37期生 8名 O A実務科 51期生 5名

② 採用試験受験、職場実習

職業安定所、新聞広告等からの情報を取り入れて、職場開拓、会社訪問、採用試験受験、職場実習をすすめ、就職活動を行った。

※障がい者合同面接会

実施日	名称	場所	参加者
6月25日	高槻市障がい者合同就職面接会	高槻市生涯学習センター	〃
9月11日	摂津市障害者合同面接会	摂津市立コミュニティプラザ	〃
10月15日	ハローワーク大阪東ミニ面接会	ハローワーク大阪東	〃
11月17日	障害者就労支援フェア	茨木市役所	〃
11月27日	ハローワーク茨木ミニ面接会	ハローワーク茨木	〃
12月15日	豊中市障がい者のしごと面接会	ハローワーク茨木	〃
12月16日	池田市障がい者合同就職面接会	ハローワーク池田	実務作業科
1月21日	ハローワーク淀川ミニ面接会	大阪市淀川区役所	O A実務科
1月29日	障害者合同就職面接会	ラポールひらかた	実務作業科
2月5日	ハローワーク大阪西面接会	大阪市港区民センター	〃
2月9日	ハローワーク枚方ミニ面接会	ハローワーク枚方	実務作業科
6月19日 1月25日 2月12日 19日 25日 3月1日	ハローワーク梅田ミニ面接会	ハローワーク梅田	O A実務科
3月2日 23日			実務作業科

### ③ 就職状況

令和2年度の就職先事業所、就職先は次のとおり。

〇A実務科 第50期生 4名

事業所名	所在地
学校法人大阪医科薬科大学	高槻市
淀川キリスト教病院	大阪市
(株)ダイキンサンライズ摂津	摂津市
高槻市役所 (R3.4 採用)	高槻市

〇A実務科 第51期生 4名

事業所名	所在地
(株)スミセイハーモニー	大阪市
(株)ダイキンサンライズ摂津	摂津市

実務作業科 第37期生 6名

事業所名	所在地
ダイキン福祉サービス(株)	摂津市
(株)三杉屋	池田市
コネクシオウィズ(株)	大阪市

事業所名	所在地
(株)ECC	大阪市
ハートパルコープ	枚方市
(株)JR西日本あいウィル	尼崎市

### ④ 家庭等との連携

保護者または支援者に対して職業訓練の目的、主旨、生活指導、就職活動等を理解し協力を得るため、次のように随時懇談を実施して連携を深めた。

実施日	科目名	懇談内容
6月5日	〇A実務科	職業安定所就職相談会
6月8日～23日	実務作業科	訓練参観、訓練状況について
6月30日	〃	職業センター 重度判定
7月28日	〃	保護者面談
8月17、18日	〇A実務科	〃
9月28日	実務作業科	〃
10月22、23日	〇A実務科 実務作業科	各職業安定所就職相談会
11月9日	実務作業科	支援学校引き継ぎ
11月9、12、24日 26、27日 12月1、2、4日	〃	保護者面談
12月9日、28日	〇A実務科	支援機関面談
3月25日	実務作業科	〃

(3) 健康管理

食中毒・感染症予防対策としては、体温計、マスク、手洗い消毒液やアルコール消毒液を購入して対応し、訓練生や家族に対して、注意文書の配布や掲示等により、予防啓発に努めた。

その他、大阪府より入校して半年後に健康診断の実施が義務付けられたため、大阪府委託業者である大阪府結核予防会での健康診断を実施した。

実施日	検査内容	対象者	場 所
9月28、30日 10月1、5日	身体計測、血圧、 聴力、視力、 尿検査、胸部レントゲン	実務作業科 37期生 10名 OA実務科 51期生 5名	大阪府 結核予防会
3月17日		OA実務科 52期生 5名	

(4) 訓練生の状況

① 手帳の所持者

(療育手帳)

(人)

判定 性別	A	B1	B2	合計
男	0	2	6	8
女	0	0	2	2
合計	0	2	8	10

(身体障害者手帳)

(人)

級 性別	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	3	0	3	2	2	10
女	0	3	1	0	1	0	5
合計	0	6	1	3	3	2	15

② 通校状況

(人)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
在籍者数	O A 実務科	50 期生	5	5	5	5	5	4	/	/	/	/	/	/	29
		51 期生	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		52 期生	/	/	/	/	/	/	5	5	5	5	5	5	30
	実務作業科	37 期生	10	10	10	10	10	10	10	10	10	8	8	8	114
	合 計		20	20	20	20	20	19	20	20	20	18	18	18	233
訓 練 日 数		1 (17)	5 (13)	22	21	18	20	22	19	19	18	17	19	201 (30)	

※ ( ) 臨時休校

③ 地域別

(人)

	O A 実務科			実務作業科	合 計
	50 期生	51 期生	52 期生	37 期生	
摂津市	1	0	1	1	3
高槻市	2	0	0	2	4
茨木市	1	3	2	2	8
大阪市	0	0	1	3	4
豊中市	0	0	0	1	1
池田市	1	1	0	1	3
箕面市	0	1	0	0	1
寝屋川市	0	0	1	0	1
合 計	5	5	5	10	25

④ 年齢別 (入校時)

(人)

年 齢		15~19 才	20~29 才	30~39 才	40~49 才	50~59 才	合 計
O A 実務科	男	0	4	2	4	0	10
	女	0	1	2	0	2	5
実務作業科	男	6	1	1	0	0	8
	女	1	1	0	0	0	2
合 計	男	6	5	3	4	0	18
	女	1	2	2	0	2	7

## ⑤ 入校斡旋職業安定所

(人)

		茨木	淀川	門真	池田	梅田	大阪東	阿倍野	合計
OA実務科	50期生	4	0	0	1	0	0	0	5
	51期生	3	0	1	1	0	0	0	5
	52期生	3	0	1	0	0	0	1	5
実務作業科	37期生	5	1	0	2	1	1	0	10
合計		15	1	2	4	1	1	1	25

## ⑥ 通校の方法

(人)

方法		電車 バス	バス	自家用車	自転車	徒歩	合計	
OA実務科	50期生	男	1	3	0	0	0	4
		女	0	1	0	0	0	1
	51期生	男	1	0	2	0	0	3
		女	0	1	0	1	0	2
	52期生	男	1	2	0	0	0	3
		女	0	2	0	0	0	2
実務作業科	37期生	男	5	2	0	1	0	8
		女	1	1	0	0	0	2
合計		男	8	7	2	1	0	18
		女	1	5	0	1	0	7

## (5) 障がい者の態様に応じた多様な委託訓練事業（作業習得科）

軽作業・木工等の作業訓練により、生活態度・集中力・持続性等の向上を図り、多種多様な仕事に対応できる基礎知識、技能の習得を行う。

訓練期間	令和2年 8月3日 ～ 10月30日	令和2年 11月2日 ～令和3年1月29日
定員	年間 4名	
受講者	1名	0名

## 実習先

事業所名	所在地
(株)フレッシュファーム	摂津市

受講者の状況

(療育手帳)

(人)

判定 性別	A	B1	B2	合計
男	0	1	0	1
女	0	0	0	0
合計	0	1	0	1

(地域別)

(人)

摂津市	合計
1	1

(6) 各種会議

訓練生の職業能力の開発及び向上のため、ケース会議と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

1. 施設連絡会 (月2回)
2. ケース会議 (随時)
3. カリキュラム会議 (随時)
4. 各行事会議 (随時)
5. 法人行事実行委員会 (随時)

(7) 防災訓練

火災、地震を想定した施設内訓練を次のように実施した。

(人)

実施月日	想定災害	訓練内容	参加者
9月4日	火災	避難訓練	訓練生 18 職員 7
3月11日	地震	避難訓練	訓練生 15 職員 7

(8) 職員研修

訓練生の職業能力の開発及び向上を図るため、職員の資質向上を目指し、また、関係機関と連携を図るため各種研修等に参加した。

研修日	研修名	場所	主催	参加者
7月23日	施設管理者・利用者向け新型コロナウイルス発生・感染拡大防止研修会	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市施設管理公社	施設長
9月11日	能力開発施設連絡会	大阪市職業リハビリテーションセンター	就業支援ネットワーク	〃
9月17日	接遇講習会	オンライン(Zoom)	福利厚生センター	施設長代理

10月27日	ひょうご障害者 ワークフォーラム	神戸クリスタルタワー ビル	全国障害者雇用事 業所	指導員
11月19日	ハラスメント防止講習会	オンライン(Zoom)	福利厚生センター	〃

(9) その他： 検定試験合格者 (人)

実施日	検定名	科目名	合格者
6月8日	日本商工会議所 PC検定(文書作成)3級	OA実務科	1
6月18日	日本商工会議所 PC検定(文書作成)3級	〃	1
	日本商工会議所 PC検定(データ活用)3級		1
7月2日	日本商工会議所 PC検定(プレゼン資料作成)3級	〃	2
7月14日	日本商工会議所 簿記初級	〃	5
7月15日	日本商工会議所 PC検定(データ活用)3級	〃	1
	日本商工会議所 PC検定(プレゼン資料作成)3級		1
7月31日	日本商工会議所 PC検定(データ活用)3級	〃	1
8月11日	日本商工会議所 PC検定(プレゼン資料作成)3級	〃	1
8月27日	日本商工会議所 PC検定(文書作成)3級	〃	5
9月11日	日本商工会議所 PC検定(文書作成)2級	〃	1
9月17日	日本商工会議所 PC検定(データ活用)2級	〃	1
9月18日	日本商工会議所 電子会計実務検定3級	〃	3
	日本商工会議所 PC検定(データ活用)3級		4
9月28日	日本商工会議所 PC検定(プレゼン資料作成)2級	〃	1
10月29日	日本商工会議所 PC検定(データ活用)3級	〃	1
11月15日	日本商工会議所 簿記3級	〃	1
11月25日	日本商工会議所 PC検定(プレゼン資料作成)3級	〃	4
12月10日	日本商工会議所 PC検定(文書作成)2級	〃	1
	日本商工会議所 PC検定(データ活用)2級		2
	日本商工会議所 PC検定(プレゼン資料作成)3級		1
12月22日	日本商工会議所 PC検定(データ活用)2級	〃	2
12月28日	日本商工会議所 簿記初級	〃	2
1月29日	日本商工会議所 PC検定(文書作成)2級	〃	1
2月5日	日本商工会議所 PC検定(文書作成)2級	〃	1
	日本商工会議所 簿記初級		1

2月22日	日本商工会議所 PC検定（文書作成）3級	”	2
	日本商工会議所 簿記初級		1
3月11日	日本商工会議所 PC検定（文書作成）3級	”	1
	日本商工会議所 PC検定（プレゼン資料作成）2級		2
3月16日	日本商工会議所 PC検定（プレゼン資料作成）2級	”	1
3月23日	日本商工会議所 電子会計実務検定3級	”	4
3月24日	日本商工会議所 PC検定（データ活用）2級	”	1

(10) 訓練生の募集活動・施設のPR活動

訓練生の募集活動として公共職業安定所はもとより、摂津市をはじめ近隣市の障がい担当課、支援学校、大学、病院、関係機関等に対するPR活動に努めた。

実施日	PR事業	主催	内容
6月17日	障がい者職業訓練 合同説明会	大阪府 摂津市	障害別に大阪府下の障害者職業訓練校の訓練内容について関係機関、学校向け合同説明会を実施
8月3日		大阪府	
11月10日			
12月4日			
10月27日	ハローワーク職員向け 障がい者職業訓練説明会	”	募集時期に合わせて各訓練校の内容・特色等の説明会を実施

【応募生職業評価選考試験】

令和2年10月入校訓練生の職業評価選考試験を次のように実施した。

(人)

実施日	科目名	募集	応募者	合格者	対象者
8月21日	OA実務科	5	4	3	身体障がい者
9月14日		2	2	2	

令和3年4月入校訓練生の職業評価選考試験を次のように実施した。

(人)

実施日	科目名	募集	応募者	合格者	対象者
12月8日	実務作業科	10	5	4	知的障がい者
3月4日		6	3	3	
3月25日		3	2	2	

2月10日	O A実務科	5	4	4	身体障がい者
3月9日		1	3	1	

#### (1 1) アフターケア

修了生の職場定着を図り、企業の障がい者の就労に対する理解を深めるため、就職先事業所を連絡訪問し、就労の状況の把握を行い、事業所に対し相談援助を行った。また、修了生や事業所からの相談を受けてケアを行った。

#### (1 2) 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う影響等

職業訓練では、大阪府の指示により令和2年3月2日より入校式前日(4月5日)まで府内で実施している障がい者の職業訓練についても小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等についても同様に一斉休業要請指示があった。4月6日の入校式は行わず、入校手続きの会を2科別々の時間で実施したが、翌日の4月7日から国の緊急事態宣言により臨時休校を5月15日まで実施し、翌週の5月18日からは小人数での分散登校を開始し、6月からは本格的に訓練を開始したが、例年6月に予定されている障害者技能競技(アビリンピック)大会は感染拡大防止のため中止された。

休校期間中は、O A実務科の訓練生に対しては自宅学習の課題をメール配信し、説明をインターネットを利用してYouTubeを利用した。また、実務作業科の訓練生に対しては、それぞれの自宅に郵送し、5月18日からの分散登校時に提出をさせた。

2度目の緊急事態宣言では、大阪府の指示により休校の措置は取らず、通常1日7限(16時終了)の訓練を、通勤ラッシュの時間を避けるために1日6限(15時10分終了)に変更した。

修了生のケアについては、令和2年3月より臨時休校となり就職先が決まらず訓練が修了してしまった訓練生については、引き続き支援を行い就職することが出来た(6月)。

また、3月修了した訓練生2名については、就職は決まったもののコロナの感染拡大を受けて入社日が決まらず、自宅待機となってしまったので生活リズムの確保を目的に修了生として訓練に参加させ、企業に引き継ぐことが出来た(11月)。

施設内においては、感染対策として日々の健康チェック・行動管理シートの記入、朝昼のアルコールによる消毒、部屋の換気、3密の回避のため、更衣室の人数制限、食堂の時間差利用、合同訓練・体育の中止、訓練生全員集まる事業の中止等を行った。

就職活動では、大阪労働局主催の障害者就職面接会(10月、3月)の中止、各市主催の面接会の参加人数制限、企業の業績不振、採用計画の見直しによる縮小等、一年間を通して大きな影響があった。

また、訓練生の募集に関しても感染予防、外出の自粛等の影響か、訓練合同説明会においても参加人数が激減し、知的障がい者の入校相談者が少なく、身体障がい者も感染リスクの回避から入校時期の先送り等非常に厳しい状況であった。

## 7 摂津市立第1児童センター

### (1) 概況

子どもにとって遊びが生活の中の大きな部分を占め、遊び自体の中に子どもを発達させる重要な要素が含まれている。児童センター活動内容の根幹の一つとして子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して様々な活動に自発的に取り組めるようにする事がある。コロナ禍により感染拡大防止対策として求められる事はその活動内容に正に相反する。その対応は市内学校対応レベルが適用され4月、5月は休館措置となった。休館中には職員により施設内外の塗装を始めとした環境整備や感染症対策の用品の準備や子ども達が自宅で楽しめるクラフト遊びのリモート配信を行い、再開時に持ちよれるような仕組みを作った。6月から自由来館のみで再開し6月15日より通常開館として開館延長も実施した。昨年6月に策定された児童館のための新型コロナウイルス感染症ガイドラインに基づき市担当課と情報共有をして健全育成活動の継続と感染防止に努めた。日常より来館者全員に手洗い、消毒、名簿記入を実施した。行事の折は参加者の検温、名簿での参加者管理を徹底した。また換気・消毒を行い、密を招かないようソーシャルディスタンスを確保した。設備では感染症対策としてサーキュレーター等の空調設備を導入して利用環境を整えた。

しかし感染拡大防止策を講じても感染リスクの高い活動については中止や延期とせざる得なかった。実施できた事業でも感染症対策として定員の縮小、実施機会の分散などの対応を図った。(別掲)

コロナ禍に対応した新たな発想のあそびとして年間を通して実施したもの、個別取り組みをまとめたもの、家庭での活動を持ち寄るものなど密を招かずつながりを意識できるように工夫した。

一方、対外活動は困難であり令和元年度より法人の社会貢献事業の「こども食堂」も定着し、より充実を図るべく計画していたが会場である別府コミュニティセンターが使用できず種々検討を重ねたが年間を通して実施できなかった。移動児童館事業や連携事業についても実施できなかった。

利用者に対するこれらの情報発信は、ホームページ、フェイスブック、インスタグラムといったSNSを頻回に活用した。また休館中には自宅でできるあそびの提案をリモートで発信した。

### (2) 利用について

#### ①利用対象

- ・保護者が同伴する乳幼児
- ・小学生
- ・児童関係の指導者及びこれに準ずるもの
- ・その他指定管理者が適当と認める者

## ②利用手続（入館は無料）

- ・受付で「児童センター使用証」の交付を受け、来館するときには使用証を提示する。
- ・子ども会活動等のため児童センターの部屋の専用許可を受けようとする場合は「特別使用許可書」の交付を受ける。

## ③開館時間

- ・午前8時45分から午後5時15分まで(6月15日から8月末は午後6時15分)

## ④休館日

- ・日曜日
- ・国民の祝日
- ・12月29日から1月3日まで
- ・3月3日から5月末まで新型コロナウイルスの感染拡大防止のため臨時休館

## (3) 年間主要行事の実施状況

新型コロナウイルス感染症のため、中止や実施内容の変更等を行った。

### I. 新型コロナウイルス感染症による臨時休館中の為、未実施の行事

4月：児ーセンまつり2020

5月：母の日クラフト、新1年生歓迎会

### II. 食事や宿泊を伴う、また多数の参加が見込まれ中止した行事

6月：じゃがいも収穫祭

7月：児ーセンツアー20、夏まつり、ヤックン、サロン de シャベロン

8月：夏休みクラフト、みんなであそぼう&おおそうじ、すこやかネット、乳幼児サマーランド、もちつき、多世代交流会、お別れサロン、お別れドッジ&ぜんざい

### III. 内容や定員を変更し実施した行事

日 程	行 事 名	変 更 点	定員 (人)	参加者数 (人)
9月19日 →同日	卓球交流試合	対外試合を中止 卓球大会を実施	—	16
12月28日 →同日	みんなでおおそうじ	おおそうじのみ開催	—	12
2月27日 →3月27日	みしま3丁目劇場	子どもたちの発表の場としてJステージを開催 (保護者は入れ替え制)	—	76 (出演者含む)

3月11日 →3月4・9日	乳幼児ランド	各日2部制（各回定員10組）での実施	40組	34組 (66人)
3月31日 →同日	お別れスポーツ大会	ドッジ・ぜんざいは中止 スポーツ大会を開催	—	69

IV. ○○ウィークと題し密集を避け、小学生だけでなく来館者全員が楽しめる内容に変更した行事

日程	行事名	変更点・実施内容	参加者数 (人)
10月3日 →9月23日 ～30日	お月見 →月見 de ウィーク	小学生対象の行事ではなくクイズ・展示物・掲示物の実施	期間内来館者数：458
10月31日 →10月24日 ～31日	ハロウィン →ハロウィン de ウィーク	ハロウィンクラフト（マントづくりやお菓子箱づくり）・フォトギャラリーを実施	フォト：35 期間内来館者数：372
12月5日・11日 →12月5日 ～25日	クリスマス会・乳幼児クリスマス会 →クリスマス de ウィーク	クリスマス会・乳幼児クリスマス会は定員の変更を行い実施予定であったが、感染症拡大傾向のため中止 クイズ・クラフトを実施	期間内来館者数：816
12月26日 →1月4日～15日	お正月クラフト・書初め →お正月 de ウィーク	お正月クラフトは感染症拡大傾向のため中止 新年に書初め・コマまわし大会・巨大すごろく大会・お正月あそびを実施	書初め：20 コマまわし：6 巨大すごろく：22 期間内来館者数：460
1月31日 →1月25日 ～2月2日	節分 →節分 de ウィーク	乳幼児親子プログラムでの節分クラフト実施 豆まき・掲示物の実施	豆まき：28 期間内来館者数：322
2月13日 →2月8日～13日	バレンタイン チョコづくり →バレンタイン de ウィーク	チョコづくりは中止 小学生対象のコスター作り・来館者全員対象のカード作りをそれぞれ実施	期間内来館者数：300

V. コロナ禍による新たな常識を配慮することのできる新規事業

日 程	行 事 名	内 容	備 考	参加者数 (人)
4月～ 7月	みんなで 壁面を つくろう	休館中に家でお花を作り、 開館後にホール壁面に飾っ た。	HP、SNS にて 告知と花の作り 方を掲載	—
4月～ 11月	児ーセン ファーム	野菜を作り、収穫する 花を育てる。	おもしろくらぶ Ⅱ期で花を育て た	—
4月～ 3月	けん玉 もしかめ トリップ	東海道線に見立てた線路 (新大阪～東京) を作成 し、もしかめの回数に応じて 進む。	各学童保育室に も紹介	51 (児童セ ンター内 のみ)
6月～ 3月	月間あそび	月ごとにあそびを設定し、 月間を通してチャンピオン を競う。 年間ランキングでキングを 決定。	SNS にて見本動 画を掲載	273 9月～3 月集計)
6月	みんなで旗 をつくろう	遊戯室内に掲げる旗を作成 手形スタンプで児童セン ターの《木》を作った。	来館者に随時声 をかけ、作成	—
6月27日	あそび グランプリ	臨時休館あけの初めてのイ ベント。児童センターのあ そびをサーキット形式で楽 しむ。	運営にはこども スタッフも関わ る	32
8月8日	暗夜行路	夏休みのイベントとして遊 戯室を使用。目隠しでひも をたよりにゴールを目指 す。	運営にはこども スタッフも関わ る	42

① 定例行事活動

登録制の親子プログラムである「P u k u<sup>2</sup>」「M u k u<sup>2</sup>」「ひよこちゃんよっといで」については密集や密接を避けるため定員を設け、事前申込制とした。またけん玉認定会等を定期的実施した。

行 事 名	実施回数	延参加者数(人)
P u k u M u k u 6 ヶ月～2 歳児	23 回	380
ひよこちゃんよっといで 3 歳児～	26 回	421
トランポリンの日	7 回	470
けん玉認定会(移動児童館含む)	9 回	354

② 教室活動

例年実施している専門講師を招いての教室活動は開催を見合わせ、職員指導によるクラフト教室を実施した。また、〇〇de ウィークでは季節のクラフトを実施。対象を小学生だけでなく、乳幼児親子も参加できる内容を行った。

日 程	行 事 名	対 象	定 員 (人)	参加者数 (人)
6月20日 →同日	父の日クラフト 紙粘土トレイづくり	小学生	16	15
10月24日 10月30・31日	ハロウィン de ウィーク マントづくり お菓子箱づくり	幼児～小学生 来館者全員	5組 40	5組 42
12月5日 12月21～23日	クリスマス de ウィーク キャンドルづくり ランチョンマット作り	小学生 幼児～小学生	20 15組	20 11組
2月13日 2月8～13日	バレンタイン de ウィーク コースターづくり カードづくり	小学生 来館者全員	20	16 33

### ③ クラブ活動

指導者が児童を集団で指導するクラブを編成し、感染症対策を講じながら継続指導を行った。リコーダークラブについては感染症リスクが高い活動とみなされ、通算で約2か月間活動を見合わせた。幼児親子対象の「おもしろくらぶ」では大阪人間科学大学こども保育学科と連携し、前期はリモートを使用しての関わり、後期は来館しての活動を実施した。

クラブ名	期間・活動日・活動日数	部員数 (人)	延参加者数 (人)
けん玉クラブ(前期)	6月18日～9月24日 木曜日 13回	14	177
〃 (後期)	10月1日～3月11日 木曜日 24回	15	310
卓球クラブ (前期)	6月19日～9月25日 金曜日 13回	15	188
〃 (後期)	10月2日～3月12日 金曜日 22回	15	293
リコーダークラブ (前期)	6月20日～9月26日 土曜日 13回	13	148
〃 (後期)	10月3日～3月27日 土曜日 16回	12	169
クリスマスキャスト	10月3日～12月12日 計10回	10	97
おもしろくらぶⅠ期 →5月が臨時休館のためダイジェストとして実施	6月19日～7月3日 金曜日 3回	6	15
〃 Ⅱ期	10月2日～11月20日 金曜日 8回	10	76
こどもスタッフ (前期)	6月20日～9月26日 計10回	15	100
〃 (後期)	10月3日～3月31日 計6回	15	61

### ④ 各種大会参加

新型コロナウイルスの影響で対外試合や対外活動はほとんど中止となった。文部科学大臣杯けん玉道選手権大会（南関西予選会）については8月に開催され、けん玉クラブ員（9人）がクラブ活動の成果として参加した。

## (4) 使用状況

(人)

月	個人使用	特別使用	計	開館日数	1日平均
4	0 (0)	0	0	0	0
5	0 (0)	0	0	0	0
6	1,414 (220)	52	1,466	26	56
7	1,228 (394)	46	1,274	25	51
8	1,307 (254)	49	1,356	25	54
9	1,517 (457)	36	1,553	24	65
10	1,591 (684)	32	1,623	27	60
11	1,318 (487)	39	1,357	23	59
12	1,156 (227)	32	1,188	24	50
1	1,048 (330)	27	1,075	23	47
2	1,045 (274)	48	1,093	22	50
3	1,558 (608)	52	1,610	26	62
計	13,182 (3935)	413	13,595	245	55

※ ( ) は主催事業参加者

特別使用…子育てグループ活動等のため部屋の専用許可を受けようとする場合

## (5) 年齢別使用証交付状況

(人)

月	乳児	幼児	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	累計
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	41	71	7	29	29	47	25	36	285	285
7	19	24	12	17	13	10	8	7	110	395
8	10	29	6	10	10	11	22	15	113	508
9	19	22	4	3	6	8	16	7	85	593
10	22	25	7	6	7	7	6	11	91	684
11	9	6	4	3	2	4	8	1	37	721
12	8	9	3	4	7	4	9	8	52	773
1	9	8	3	2	2	0	0	6	30	803
2	12	11	2	4	5	2	4	1	41	844
3	11	7	4	6	6	8	4	3	49	893
合計	160	212	52	84	87	101	102	95	893	

(6) 学校別使用証交付状況 (人)

月	摂津	味舌	三宅柳田	その他	合計	累計
4	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0
6	124	31	12	6	173	173
7	52	6	5	4	67	240
8	41	20	10	3	74	314
9	15	12	17	0	44	358
10	35	5	3	1	44	402
11	16	0	5	1	22	424
12	20	8	7	0	35	459
1	12	1	0	0	13	472
2	11	4	2	1	18	490
3	13	5	9	4	31	521
合計	339	92	70	20	521	

(7) ボランティア受け入れ状況

新型コロナウイルスの影響により例年に比べ行事でのボランティア受け入れは減少した。また日常ボランティアの受け入れも感染症対策をしながら受け入れた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	0	0	14	7	4	10	12	8	10	3	10	17	95
行事・日常ボランティア延活動者数(人)	0	0	26	9	6	14	33	19	16	4	15	27	169

※(2)～(7)において4月・5月は臨時休館中の為、集計はなし

(8) 個人情報の取り扱い及び虐待防止についての取り組み状況

使用証の交付申請書、使用登録カードをはじめ個人情報が記された書類などの管理は、施錠したキャビネットにて保管した。施設外への個人情報データの持ち出しも一切行わなかった。

虐待やいじめを受けているなどが疑われる児童については、来館時に受付にて様子を見て声かけを行った。様子がおかしい場合、状況観察に努め各職員からアプローチし、状況により学校、家庭と連絡連携し、問題の解決に努めた。

(9) 職員研修

日常業務に必要な技術の習得や質の高いサービス向上を目指し、職員の資質を高めるために研修会に参加した。令和2年度は新型コロナウイルスの影響でZoomでの研修も受講した。

研修日	研修名	開催場所	主催	職種	備考
10月6日	大阪府人権総合講座 オンライン開催	Zoom	一般財団法人 大阪府 人権協会	児童 厚生員	「インターネット等における人権課題」
10月27日					「障がい者の人権課題（発達障がい）」
11月5日					「ひとり親家庭の人権課題」
11月18日					「子どもの貧困」
11月18日					「メディア・リテラシー」
10月20日	大阪府 児童厚生員等 研修会	大阪市	大阪府立 大型児童館 ビッグバン	児童 厚生員	[健全育成論]
11月4日					[集団援助活動]
11月9日		堺市			[児童館論Ⅱ]
11月18日					[ゲーム・運動遊び]
					[表現遊び]
1月31日	全国子ども健全育成リーダー養成セミナー	Zoom	一般財団法人 児童健全育成推進財団	児童 厚生員	
3月7日	全国児童館・児童クラブオンラインフォーラム	Zoom	全国児童厚生員研究協議会・ 一般財団法人 児童健全育成推進財団	児童 厚生員	
3月13日	児童厚生員1級特別セミナー（聴講）	Zoom	一般財団法人 児童健全育成推進財団	児童 厚生員	

(10) 運営委員会について

	実施日	参加者(人)	内 容
第1回	8月19日	9	委嘱状交付、事業報告、決算概要報告 近況報告、質疑応答
第2回	3月31日	10	事業計画、予算概要、近況報告を郵送 し、書面決議とした

(11) (仮称)鳥飼地域交流センター整備に向けた提案

市では令和2年度において鳥飼保育所ととりかい幼稚園の統合による認定こども園への移行に伴い施設の建替えや多機能化を見据え、今後の施設の在り方について調査・検討を行うための予算が計上された。これを受けて当法人としては施設の建替えにあたっては現行の身体障害者・老人福祉センター及び第1児童センターの機能を充実させた多世代交流の機能をベースとした地域コミュニティの拠点施設として(仮称)鳥飼地域交流センターを整備する事が最適であると考え当施設と身体障害者・老人福祉センターが協力してその事業内容や施設概要についてまとめ市に提出した。

(12) 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う措置

令和2年3月3日～5月末まで臨時休館措置とした。6月1日より再開、13日までは自由来館のみとした。15日～通常開館を行い、乳幼児親子プログラムやクラブ活動等の事業を再開した。

開館に伴い、新型コロナウイルス感染症対策として、玄関に手指消毒液を設置したのをはじめ、各所の消毒や部屋のこまめな換気等の予防対策に取り組んだ。来館者には手洗い、マスクの着用を促した。発熱など体調のすぐれない人には来館を見合わせるようお願いした。また、来館者名簿の記入により入館時間も管理した。

利用者に対する周知は掲示板での告知、ホームページほかSNSを利用し状況の変化に混乱を招かぬように対応した。また休館中には自宅でできる遊びの動画を配信した。

## 8 摂津市障害者総合支援センター

### I 摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」

#### (1) 概況

令和2年度は、相談支援部門における事業については、〔1〕摂津市指定「計画相談支援」、〔2〕摂津市委託「摂津市障害者相談支援事業」、〔3〕大阪府指定「地域相談支援」、〔4〕摂津市委託「摂津市基幹相談支援センター等機能強化事業」、〔5〕大阪府事業で大阪府より相談支援アドバイザーとして委嘱を受けた「大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣事業」、〔6〕摂津市委託「障害支援区分認定調査」、〔7〕陽だまりと会議室の運営を継続して実施した。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大において当センターの運営理念である「利用者の命と生活、権利を守る」をもとに利用者や職員が感染しないことと万が一感染者が発生した際の対応策を構築した。(その詳細については、別項) 国や大阪府、摂津市から発出される感染予防にかかる情報を注視しつつ、事業の遂行においては、人との接触をできる限り避けながら、接触する必要がある際には、感染予防に細心の注意を払いながら遂行した。実際の支援においては、国からの感染予防対策における指針に基づき必要に応じて対面での支援を電話やリモート、郵便を活用した書面で実施した。

#### (2) 事業の状況

##### ① 計画相談支援（サービス利用支援、継続サービス利用支援）

サービス等利用計画作成を380名について実施した。本人が地域でいきいきと自分らしく生活が送れるように本人中心支援計画をケアマネジメント手法を活用して作成し、きめ細やかな支援を行った。また、計画相談支援を導入することにより関係機関の連携強化、明確な役割分担、系統だった支援による本人のエンパワメントの引き出しを行った。

##### ② 障害者相談支援事業

対象者は、摂津市内在住の障がい（身体・知的・精神）者である。

障害者相談支援事業は、知的障がい者を対象としていたが、身体障がい者や精神障がい（主に発達障がい）の継続相談も受けてきている。相談経路は、行政機関や専門機関、各教育機関・学校、病院、地域包括支援センターなどから情報提供を受けたり、障害福祉ハンドブック、ホームページなどを見て連絡される。

## (障害者相談支援事業) 相談の内訳と件数

(人)

相談内容	福祉サービスの利用	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	合計
件数	1,296	9	319	426	5	215	153	161	147	6	141	98	2,976

※令和 2 年度から相談カウント方法が変わったこと、新型コロナウイルス感染症の関係から相談件数が昨年度に比べて減少。

## (主催事業)

令和 2 年度については、摂津市から事業運営委託を受けている障がい児者を対象にしたエアロビクスダンス教室が新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から摂津市の指示にて中止となった。また、法人主催の運動会や摂津市主催事業の風船バレーボール大会についても同様の理由で中止となった。

## ③ 地域相談支援

障がい者支援施設等の施設に入所している障がい者や精神科病院等に入院している精神障がい者、矯正施設を退所される障がい者に対して、住居の確保、地域生活に移行するための活動に関する相談、その他の便宜を供与する地域移行支援は、障がい者支援施設を退所してグループホームの利用を希望された 1 名の方へサービス提供を行った。

居宅において单身等の状況において生活する障がい者に対して、当該障がい者との常時の連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急の事態において相談、その他の便宜を供与する地域定着支援は対応できる体制を確保してきたが対象者（支給決定者）はなかった。

## ④ 摂津市基幹相談支援センター等機能強化事業

市町村における相談支援事業が、適正かつ円滑に実施されるよう、相談支援の強化を図ることを目的としている。三障がいを対象とした相談支援拠点（基幹相談支援センター）の設置によって専門的な相談支援等を要する困難事例への対応や総合相談、地域自立支援協議会を構成する相談支援事業者等に対して専門的な指導、助言などを行った。また、障がい者支援施設での長期入所者や精神科病院での長期入院者の地域移行の推進や自立支援協議会の運営などと摂津市障害者介護給付費等支給審査会審査委員の委嘱を受け審査会に出席した。

1) 市自立支援協議会実務担当者会議 (事務局会議・相談支援部会、障害児相談連絡会、地域移行部会等)	年 2 3 回
2) 摂津市障害者地域自立支援協議会代表者会議	年 3 回
3) 各支援学校主催会議や進路支援等	年 6 回
4) 相談支援事業者・障害福祉サービス事業者等への専門的助言指導や調整	年 7 1 回
5) 介護給付費等支給審査会	年 5 回
6) 地域移行・各種ネットワーク会議等	年 3 回
7) 支援困難事例や初期相談等の個別支援	年 7 3 回
8) 成年後見利用支援	年 0 回
9) その他(研修講師、研修受講、市民団体への助言など)	年 3 2 回
	合計 2 1 6 回

#### ⑤ 大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣事業

大阪府の地域生活支援事業として位置づけられており、障がい者及び障がい児の相談支援に関し、地域における相談支援体制整備に向けて実績を有する、あるいは相談支援事業に従事した相当期間の経験を有する等、専門性の高いアドバイザーを派遣し、地域のネットワーク構築(地域自立支援協会等)に向けた助言等、広域的支援を行うことにより、地域における相談支援体制の整備を推進することを目的としている。

1) アドバイザー報告連絡調整会議等	年 5 回
2) 市町村地域自立支援協議会連絡会議	年 1 回
3) 大阪府障がい者自立支援協議会委員参加	年 1 回
4) 市町村へのアドバイザー派遣	年 5 回
5) 研修企画会議等	年 3 回
	合計 1 5 回

#### ⑥ 障害支援区分認定調査員

障害福祉サービス(介護給付費)の支給にあたり、市から障害支援区分認定調査員の委託を受け、139件の認定調査を実施した。

#### ⑦ 陽だまりと会議室(貸室)の運営

障がい福祉の啓発を目的に当センターロビーに市内日中活動系事業所の利用者が作った作品の展示(一部は販売)と、市民が自由に持ち帰ることが出来るよう障がい福祉事業所、機関、当事者団体のパンフレットや機関紙等を設置し、障がい当事者や家族、関係者に作品を鑑賞、購入していただいた。

また、市内障がい福祉事業所や当事者団体の活動を支援する等の目的で、会議室の貸室事業を継続し、必要に応じて基幹相談支援センター機能強化事業として、当事者団体等へ助言や情報提供を行った。

現在、貸室登録団体は12団体で令和2年度利用実績回数は20回。

### (3) 研修

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加した。

実施日	内容	場所	主催	参加者
7月1日	法人内会計研修	オンライン	法人事務局	管理者1名 相談支援専門員1名
7月25日	施設管理者・利用者向け新型コロナウイルス発生・感染拡大防止研修会	摂津市民文化ホール	一般社団法人 摂津市施設管理公社	管理者1名
8月31日	令和2年度第1回障がい支援区分認定調査員研修	大阪私学会館	大阪府福祉部 障がい福祉室 障がい福祉企画課	相談支援専門員1名
10月8日、9日、14日、16日、19日、20日	医療的ケア児等支援者養成研修	オンライン	大阪府福祉部 障がい福祉室 地域生活支援課	相談支援専門員1名
11月13日	触法障がい者・触法高齢者への福祉的支援について	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市障害者 地域自立支援協議会 相談支援部会	管理者1名、 相談支援専門員3名
1月27日	令和2年度職員勉強会（法人規則等）	オンライン	法人事務局	管理者1名 相談支援専門員2名
3月4日、3月15日	令和2年度大阪府相談支援従事者専門コース別研修 指導者養成（ファシリテーションコース）	オンライン	大阪府障がい者自立相談支援センター 地域支援課	相談支援専門員1名
3月16日	大阪府触法障がい者就労支援モデル事業報告会	オンライン	大阪府福祉部 障がい福祉室 自立支援課	管理者1名
3月18日	令和2年度大阪府主任相談支援専門員 第一回フォローアップ連絡会	大阪府庁咲洲庁舎	大阪府障がい者自立相談支援センター 地域支援課	管理者1名、 相談支援専門員1名

#### (4) 新型コロナウイルス感染防止に伴う措置

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続くなかで、摂津市や大阪府から発表される情報を集めつつ、感染防止のための対策を以下のとおり実施した。

##### ① 環境整備対策

三密を避けるために7月に面談室に換気扇や排気ダクトの設置、面談室2と面談室3の仕切り壁を撤去して密閉空間の改善、飛沫防止のための透明板の設置、加湿機能付き空気清浄機の稼働を行った。また、密接防止のために面談室や会議室の定員制を導入して使用人数制限措置を行った。

事務所については、間隔をあけた執務機の配置、換気扇の稼働とドアの開放による常時の空気の流れの確保、加湿機能付き空気清浄機の常時の稼働、開所前の館内消毒と面談室使用後の消毒等を行った。

##### ② 職員の感染防止対策

当センターの業務の性質上、訪問業務が多く外部と接触する機会が多くなる。そのために、法人の「新型コロナウイルス感染防止のための職員行動指針」をもとに当センター独自の感染防止及び感染者等が発生した場合のマニュアルを作成した。職員に対して出勤時の検温と手洗い、業務中の行動履歴の作成(勤務時間外についても行動履歴の作成を勧奨)、食事時以外のマスクの着用、手の触れる場所の随時の消毒等を行った。さらに、やむなく感染者や濃厚接触者、感染が疑われる利用者等との接触が必要な場合に備えて防護服等の備蓄と着脱訓練を実施した。また、府内における感染者数等情報や施策、注意喚起等の行政情報や法人理事長による感染予防にかかる注意喚起等を職員全員で共有しつつ、当センター独自の感染防止マニュアルに沿った自己評価を月初めに実施して感染防止に対するモチベーションの維持、向上に努めた。当センターの職員の感染者はなく、1名が発熱により、PCR検査を受検したが陰性であった。

##### ③ 利用者への感染防止対策

来所者に対しては、マスクの着用とアルコール消毒液での自動検温アルコール消毒器を設置し、来所時に検温と手指の消毒への協力を依頼した。また、府知事から府民への要請内容をホームページや館内掲示により、情報提供と協力依頼を行った。

感染防止にかかる個別の相談やコロナ禍における生活面での困りごと、不安等についての相談は随時、対応した。さらに、利用者や家族、関係する支援者等が感染者または、濃厚接触者等になった場合に正しい状況を把握するための聞き取りシートを作成し、運用した。

##### ④ 法人内の居住系サービス施設、事業所との連携

法人内の居住系サービス施設、事業所において感染者が発生した場合の当センター職員による応援体制を構築した。

#### ⑤ 地域への対応

摂津市障害者地域自立支援協議会相談支援部会において感染者や濃厚接触者等が発生した際に感染拡大防止のための支援者間での情報共有対応策を検討するワーキングを立ち上げ、感染者の人権を守りながら、情報が混乱しない仕組みづくりの検討を行い、令和3年4月から摂津市障害者自立支援協議会主催の新型コロナウイルス感染者等発生時の情報共有システムの運用を始める予定である。本システムは、自立支援協議会事務局である

当センターが事務局を担い、市内相談支援事業所と参加希望された摂津市内の障がい福祉サービス事業所、児童通所支援事業所で構成されている。

#### (相談支援担当統括者)

相談支援担当統括者は、法人内相談支援事業(就業・生活支援センターも含む)の効率的かつ効果的な事業運営に向けた助言指導・指揮、人材育成、ガバナンスの強化等を実施し、法人内の相談支援事業の質の向上に努めた。当センター内の相談支援事業である摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」及び茨木・摂津障害者就業・生活支援センターに対しては、随時、助言・指導・調整を実施し、児童発達支援センターに対しては、年間25件実施した。

## II 茨木・摂津障害者就業・生活支援センター

### (1) 概況

茨木・摂津障害者就業・生活支援センターは、職業生活における自立を図るために、就業及びこれに伴う日常生活、または社会生活上の支援を必要とする障がい者に対し、雇用・保健・福祉・教育等の関係機関との連携（連絡・調整）を図りつつ、身近な地域において必要な指導・助言その他の支援を行うことにより、その雇用の促進及び職業の安定を図った。

当センターの年間就職者数は74名で、障がい種別にみると、身体障がい者が7名、知的障がい者が53名、精神障がい者が14名で摂津市・茨木市別に就職状況をみると、摂津市が20名で茨木市が54名であった。また、職場定着支援については、例年同様、当センターの登録者が増加し、それに伴い定着支援の必要性が増してきている。支援対象者は、年々増加する中で職員体制を確保するとともにサービスの質の向上を目指し、初期相談時にアセスメント表を作成して利用者の状況やニーズを正しく把握するように努めた。

また、隔週1回のケース会議実施や毎月第1土曜日(利用者からの支援ニーズが増加してきたため、令和2年10月からは第3土曜日の開所を試行的に実施)の相談日の実施を継続した。

コロナ禍の中であって一般就労を希望する、または一般就労を続ける障がい者からその影響による様々な相談があった。テレワークによる働き方や企業の業績不振に伴う雇止めや自宅待機の指示等による相談があげられ、求人数の減少などにより、就職を断念して就労系の障がい福祉サービスの利用を希望する方も少なくなかった。また、生活面においても新型コロナウイルス感染に対する不安や感染防止に関する相談などが令和2年度の支援の特徴である。さらに、市内に障がい者を雇用し就労面での支援を行う企業が関東から進出し、摂津市や労働関係機関等とも連携しながら、その企業との連携には中立公平な姿勢で対応した。

新規利用希望者を対象とした集団での就業・生活支援センター事業のサービス内容説明会であるガイダンスを継続し、センターの事業説明と支援内容を理解していただいた上でサービス利用を希望される方には個別面談を実施した。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、例年に比べるとガイダンスへの参加者は減少した。

就労支援のネットワーク構築については、コロナ禍の中でも感染拡大防止に最善を尽くしながら、WEB会議や書面会議、参加人数を絞った対面での会議の主催や参加により、ネットワーク体制の維持に努めた。具体的には、摂津・茨木両市の障害者地域自立支援協議会委員や摂津支援学校、とりかい高等支援学校の運営協議会委員の就任をはじめ、行政及び関係機関、企業等とのネットワークを深めていく中で、地域における障がい者の就労支援を担う機関としてその果たすべき役割を担ってきた。さらに、支援学校生徒の卒業後の支援が切れ目のないようにしていくために4か所の特別支援学校と3か所の障害者就業・生活支援センターの支援担当者会議を年に2回継続実施した。

(2) 就業・生活支援センター活動の状況（利用者参加）

実施日	行事名	場所	内容
4月6日	むらの高等支援学校 進路相談会	就業・生活支 援センター	就職希望の3年生の進路 相談
6月25日	障がい者合同就職面接相談会	高槻市生涯学 習センター	高槻市障がい者合同企業 面接会
7月30日	とりかい高等支援学校職業相談 会	とりかい高等 支援学校	就職希望の3年生の職業 相談、就業・生活支援セ ンターの事業内容の説明
9月11日	摂津市障がい者就職フェア	摂津市立 コミュニティ プラザ	摂津市障がい者合同企業 面接会
10月20日	たまがわ高等支援学校進路懇談 会	たまがわ高等 支援学校	就職希望の3年生の進路 相談
11月17日	茨木市障がい者就労支援フェア	茨木市役所	茨木市障がい者合同企業 面接会
12月3日	とりかい高等支援学校 ガイダンス	とりかい高等 支援学校	就業・生活支援センター のガイダンスと利用登録

(3) 利用者の状況

① 地域別相談者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合計
摂津市	233	95	147	11	486
茨木市	418	132	315	29	894
合計	651	227	462	40	1,380

② 新規相談者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合計
摂津市	13	6	5	1	25
茨木市	20	7	20	2	49
合計	33	13	25	3	74

③ 延べ相談件数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合計
摂津市	956	105	201	89	1,351
茨木市	1,212	175	576	61	2,024
合計	2,168	280	777	150	3,375

④ 市別利用登録者数 (人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	152	33	49	3	237
茨木市	269	51	104	9	433
合計	421	84	153	12	670

(4) 就職の状況

① 職場実習 (人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	9	1	0	1	11
茨木市	18	0	1	0	19
合計	27	1	1	1	30

② 就職者数 (人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合 計
摂津市	14	1	5	0	20
茨木市	39	6	9	0	54
合計	53	7	14	0	74

(5) 職員研修

利用者の職業生活における自立を図ることを目的に、必要な情報・知識を習得し、職員の資質を高めるため研修会、連絡会等へ参加した。

実施日	研修名	主催	場 所	内 容
11月4日	第1回実務者研修	大阪府域障害者 就業・生活支援 センター連絡会	大阪府庁咲洲 庁舎	事例検討によるグル ープワーク
11月5日	LGBT・セクシャ ルマイノリティに ついて	人権女性政策課	コミプラ3階 コンベンショ ンホール	性的マイノリティを 多くの人に知っても らう。多様な性への 理解を深める。
11月26日	「就業支援実践研 修」発達コース	独立行政法人高 齢・障害・求職 者雇用支援機構	CIVI研修セ ンター新大阪 東	・企業へのアプロー チ ・就業支援の実践 ・ケーススタディ

2月5日	トラウマを理解する	大阪府障がい者自立相談支援センター	WEB 開催	トラウマへの影響や脳神経に与える影響を知り、支援の進め方を知る。
2月16日	ジョブライフサポーター養成講座	大阪府域障害者就業・生活支援センター連絡会 Aブロック	豊中市立文化芸術センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある人の就労支援</li> <li>・障がい者雇用の現状と制度について</li> <li>・日東ひまわり茨木とダイキンサンライズ摂津の見学</li> </ul>
2月25日	ジョブライフサポーター養成講座	大阪府域障害者就業・生活支援センター連絡会 Aブロック	豊中市立文化芸術センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョブコーチの役割と活用</li> <li>・障がい者雇用事例</li> <li>・グループディスカッション</li> </ul>
3月4日	災害（地震、津波、風水害）に関すること。災害時の医療支援体制について	大阪府障がい者自立相談支援センター	WEB 開催	基本的な DMAT の活動と災害時の医療支援体制
3月5日	0 から 2 年目対象実務者研修	大阪府域障害者就業・生活支援センター連絡会	大阪府庁咲洲庁舎	自分のセンターと圏域についてプレゼンしよう 各センター

(6) 関係機関との会議

会議名	会議内容	回数
茨木・摂津障害者就業・生活支援センター運営会議	事業報告、事業計画、今年度の取り組みについて書面にて郵送し意見をいただく形式にて実施	年1回

大阪府域障害者就業・生活支援センター連絡会	緊急事態宣言下の支援状況、府下障害者就業・生活支援センターにおける課題等の整理、ジョブサポートパワー、エスプールプラスの取り組み、コロナ禍でできたこと、よかったこと、知り得たこと 8月は小規模拠点リモート開催、11月は通常開催、2月はZOOM会議で実施	年3回 1回中止
大阪府域障害者就業・生活支援センター連絡会ブロック長会議	府連本会に向けての打ち合わせ、各ブロックの情報共有、今後の方向性についての検討、新年度への引き継ぎ	年4回
大阪府域障害者就業・生活支援センター連絡会Aブロック	各センターの取り組み状況について、府連本会へ向けての打ち合わせ、ジョブライフサポーター養成講座について、障がい者雇用ビジネスについて 6、8月は小規模リモート併用開催、10月は通常開催、1月は小規模リモート併用開催	年4回
令和2年度障害者就業・生活支援センター近畿・中国ブロック意見交換会	地域におけるセンターの役割、役割を果たすために改善すべき課題、情報交換 ZOOM会議で実施	年1回
大阪府社会生活適応訓練事業推進委員会	社会生活適応訓練についての審査、新規の受け入れ、訓練の延長、受け入れ企業についての報告 10～12月は通常開催、1～3月はZOOM会議	6回
摂津市障害者地域自立支援協議会代表者会議	実務担当者（相談支援部会）からの報告、障害福祉計画等の実績について、第6期摂津市障害福祉計画及び第2期摂津市障害児福祉計画の策定について 地域生活支援拠点事業について、事業所団体アンケート等の報告について 4月、9月は書面開催、12.1.3月は通常	年5回

摂津市障害者地域自立支援協議会相談支援部会	各センター近況報告、部会報告、その他 4月は書面開催	年6回
茨木市障害者地域自立支援協議会定例会	今年度の事業について、各部会・PT等企画について、災害時における課題整理表、全体会について、災害対策ワーキンググループについて、地区保健福祉センターについて、来年度協議会予定について 4月と5月は会議が中止になったが意見票を提出し、10月に臨時の会議があり、1月と3月はZOOM会議	年8回
茨木市障害者地域自立支援協議会就労支援部会	コロナ禍の情報交換、各機関からの状況報告、障がい者雇用コンサルティング会社への対応、障害者雇用支援セミナー、リーフレット作成 4. 6. 8. 12月は中止。10月のみ通常開催で2月はZOOM会議	年6回
茨木市障害者地域自立支援協議会全体会議	災害対策PTの取組み状況について、新型コロナウイルス感染症による各部会・PTの活動の影響について、茨木市障害者施策分科会及び地域生活支援拠点の概要の報告について、地区保健福祉センターについて 第1回は書面開催	年2回
大阪府立摂津支援学校運営協議会	今年度の学校経営計画について、今年度の使用教科書について、取り組みの進捗状況、学校教育自己診断について、授業見学、進路状況 1. 3回は書面開催、2回は通常開催	年3回
大阪府立とりかい高等支援学校運営協議会	学校経営計画について、授業アンケート、教科書について、進路状況について、学校教育自己診断実施について 1. 2回は通常開催、3回は書面開催	年3回

三島ブロック進路指導関係機関連絡会	支援学校卒業予定生徒の進路状況の報告と事例・課題についての協議 1回は通常開催、2回は中止	年2回
特別支援学校と障害者就業・生活支援センターの支援担当者会議	各支援学校の進路進捗状況、各センターの近況、児童養護施設利用生徒の状況確認、企業情報の交換 2回とも ZOOM 会議で実施	年2回

#### (7) 就業・生活支援センターのPR活動

摂津市、茨木市の障がい福祉担当課、商工担当課をはじめ、両市の広報への掲載や茨木公共職業安定所等主催の障がい者合同面接会において企業、求職者に対してPR活動に努めた。

#### (8) 新型コロナウイルス感染防止に伴う措置

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続くなかで、摂津市や大阪府から発表される情報を集めつつ、感染防止のための対策を以下のとおり実施した。

##### ① 環境整備対策

三密を避けるために7月に面談室に換気扇や排気ダクトの設置、面談室2と面談室3の仕切り壁を撤去して密閉空間の改善、飛沫防止のための透明板の設置、加湿機能付き空気清浄機の稼働を行った。また、密接防止のために面談室や会議室の定員制を導入して使用人数制限措置を行った。

事務所については、間隔をあけた執務機の配置、換気扇の稼働とドアの開放による常時の空気の流れの確保、加湿機能付き空気清浄機の常時の稼働、開所前の館内消毒と面談室使用後の消毒等を行った。

##### ② 職員の感染防止対策

当センターの業務の性質上、訪問業務が多く外部と接触する機会が多くなる。そのために、法人の「新型コロナウイルス感染防止のための職員行動指針」をもとに当センター独自の感染防止及び感染者等が発生した場合のマニュアルを作成した。職員に対して出勤時の検温と手洗い、業務中の行動履歴の作成(勤務時間外についても行動履歴の作成を勧奨)、食事時以外のマスクの着用、手の触れる場所の随時の消毒等を行った。さらに、やむなく感染者や濃厚接触者、感染が疑われる利用者等との接触が必要な場合に備えて防護服等の備蓄と着脱訓練を実施した。また、府内における感染者数等情報や施策、注意喚起等の行政情報や法人理事長による感染予防にかかる注意喚起等を職員全員で共有しつつ、当センター独自の感染防止マニュアルに沿った自己評価を月初めに実施して感染

防止に対するモチベーションの維持、向上に努めた。当センターの職員の感染者はなく、1名が発熱により、PCR検査を受検したが陰性であった。

③ 利用者への感染防止対策

来所者に対しては、マスクの着用とアルコール消毒液での自動検温アルコール消毒器を設置し、来所時に検温と手指の消毒への協力を依頼した。また、府知事から府民への要請内容をホームページや館内掲示により、情報提供と協力依頼を行った。

感染防止にかかる個別の相談やコロナ禍における生活面での困りごと、不安等についての相談は随時、対応した。

④ 法人内の居住系サービス施設、事業所との連携

法人内の居住系サービス施設、事業所において感染者が発生した場合の当センター職員による応援体制を構築した。